

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	論理学	横山 ひとみ	1年次	単位数	1 単位
				時間数	3 0 時間
教育目標	論理の構造や形式を学び、具体的な課題に取り組むことによって、論理学の基礎的な知識を習得する。また、その知識を基盤とした論述文の読み書きの技能を身に付ける。				
講義回数	講義内容			備考	
1	オリエンテーション、論理とは？ さまざまな接続関係について理解する。				
2	接続の構造について理解する。				
3	議論の組み立てについて理解する。				
4	演繹と推測について理解する。				
5	演繹の正しさと推測の適切さについて理解する。				
6	論述文とその他の文の違いについて理解する。				
7	論述文に不可欠な要素を理解する。				
8	論述文読み書きトレーニング 1 論述文を読む際のポイントについて理解する。				
9	論述文読み書きトレーニング 2 論述文を読む。				
10	論述文読み書きトレーニング 3 論述文の要旨を読む際のポイントについて理解する。				
11	論述文読み書きトレーニング 4 論述文の要旨を書く。				
12	論述文読み書きトレーニング 5 論述文を書く際のポイントについて理解する。				
13	論述文読み書きトレーニング 6 論述文を書く。				
14	論述文読み書きトレーニング 7 論述文を書く。				
15	単位認定試験				
使 用 テキスト	テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。				
評価方法	提出物および単位認定試験				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

【看護学科】

科目名	情報科学	田邊 敬	1年次	単位数	1 単位
				時間数	3 0 時間
教育目標	情報科学の基礎理論やその技術的側面であるコンピューターに関する知識を深め看護所情報処理に活かす。				
講義回数	講義内容			備考	
1回	情報の変遷と情報化社会				
2回	情報システムの概要とWindowsの構成				
3回	文書管理 Wordの基本操作				
4回	文書作成とテキスト文書				
5回	ワードでの表の作成と編集				
6回	クリップアートの作成				
7回	表計算ソフト Excelの基本操作				
8回	各種グラフの作成				
9回	Excelの活用				
10回	関数の利用				
11回	データベース機能				
12回	プレゼンテーションソフト Power Point 基本操作				
13回	プレゼンテーション資料の作成				
14回	プレゼンテーションのテクニック				
15回	単位認定試験				
使用 テキスト	30時間アカデミック 情報リテラシーOffice2016 実教出版				
評価方法	筆記試験・演習・提出物及び出席状況を総合評価				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	フレッシュャーズセミナー	木村匡弘	看護師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	20時間
教育目標	看護職に求められる能力・役割を理解し、看護学生としての姿勢を学ぶとともに、看護師として必要な人間関係を形成するコミュニケーション能力を高める					
講義回数	講義内容				備考	
1回	看護とは ・看護倫理とは				講義	
2回	学科説明・カリキュラム説明				講義	
3回	看護の基礎的能力について				講義	
4回	シラバス・講義・実習・認定試験について				講義	
5回	学校見学・クラス交流				見学・交流	
6回	学校見学・クラス交流				見学・交流	
7回	就職活動について				講義	
8回	バディ・クラス交流会				交流	
9回	私の目指す看護師像準備・発表				講義・発表	
10回	私の目指す看護師像準備・発表				講義・発表	
11回	勉強の方法について				講義	
12回	記録の書き方（レポート）				講義	
13回	実習室・白衣の意味について				講義	
14回	地域見学・清掃等ボランティア活動				課外講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	学生便覧，教育計画					
評価方法	終講試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	教育学	伊住 継行	1年次	単位数	1 単位
				時間数	3 0 時間
教育目標	教育の概念、必要性を理解し教育的姿勢を理解するために、基礎的知識を学習し、看護実践における効果的な教育方法について学ぶ。				
講義回数	講義内容			備考	
1	オリエンテーション 教育とは 子供の成長発達の理解と支援 フロイトの発達理論 ピアジェの認知発達理論 コールバークの道徳性発達理論 エリクソンのライフサイクルモデル 学習支援 学習とは 学習心理学への招待 学習理論と態度・行動形成 学習意欲 記憶の仕組みと教科学習 道徳教育 非認知能力			講義	
15	まとめ 筆記試験			試験	
使 用 テキスト	プリント配布				
評価方法	出席状況，受講態度，単位認定試験				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	日本文学論	松尾 直昭	1年次	単位数	1 単位
				時間数	20時間
教育目標	文学を通じて能動的かつ創造的に文章を読めることで、想像力の向上を目的としている。感性を豊かにすることで看護師としての成長も期待できる。文学を通じてひとの生き方、他者の多様な生き方、物事の見方、考え方を学び、哲学を基礎とした人間理解を深め自己の人間性と感性を豊かにする機会とする。				
講義回数	講義内容			備考	
1	日本文学 概説 青年期の課題と読書			講義	
2	森鷗外① 人と作品—家長としての鷗外, 留学と恋愛, 脚気論争				
3	夏目漱石① 人と作品—金之助から漱石へ, 漱石と神経症, 臨死体験				
4					
5	芥川龍之介① 人と作品—恋愛と作品, 追い詰められる龍之介				
6	志賀直哉 人と作品—自然と癒し				
7	島村藤村 人と作品—おぞき血の澱みと告白				
8	三島由紀夫 人と作品—仮面の告白				
9	遠藤周作 人と作品—宗教と作品				
10	テスト				
使 用 テキスト	資料・プリント				
評価方法	出席状況と受講態度、最終試験の結果を総合的に判断して評価を決定する。				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	心理学	細川佳祐	臨床心理士	1年次	単位数	1 単位
					時間数	3 0 時間
教育目標	心の働きのメカニズムを学び、臨床心理における人間行動を理解する上での手がかりとし、看護実践に役立てる。					
講義回数	講義内容					備考
1～3回	心理学の概要 心理学の沿革 精神活動の理解					講義
4～6回	精神活動の心理 記憶と知能の心理 感情と性格の心理					講義
7～9回	人間理解の心理 行動からの人間理解 発達からの人間理解 適応からの人間理解					講義
10～12回	コミュニケーション 人間関係の心理 人間関係の形成 非言語的コミュニケーション					講義
13～14回	福祉と臨床 相談機関の種類 問題行動のメカニズム カウンセリングと心理治療 まとめ					講義
15回	単位認定試験					試験
使用テキスト	講義ノート 心理学 一人間関係論一 流王治郎著					
評価方法	単位認定試験, 受講態度, 出席状況					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	フローレンス・ナイチンゲール論	内田 早紀	看護師	2年次	単位数	1 単位
					時間数	20 時間
教育目標	ナイチンゲールの生涯、看護理論を通じ、現代的課題を学ぶ。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	ナイチンゲールとは				講義・GW	
2回	ナイチンゲールの時代				講義・GW	
3回	ナイチンゲールの子どもの頃				講義・GW	
4回	ナイチンゲールの苦悩				講義・GW	
5回	クリミア戦争と社会				講義・GW	
6回	ナイチンゲールのグラフ				講義・GW	
7回	ナイチンゲールの果たした役割 (ナイチンゲール看護覚え書)				講義・GW	
8回	グループ発表準備				発表準備	
9回	グループ発表				発表	
10回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 看護学概論 看護覚え書きフローレンス・ナイチンゲール					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	対人コミュニケーション論	安田 幸平	1年次	単位数	2単位
				時間数	30時間
教育目標	1. よりよい社会生活を営むために対人関係の基礎的知識と技術を学習し、自己の感性を磨き、自己成長に役立てる。 2. 看護場面での治療的対人関係を成立させるための基礎について学習する。				
講義回数	講義内容			備考	
1～8 9 10 11 12 13 14 15	新人時宿泊研修 ・自己理解 他者理解 ・自分の魅力を発見しアピールする ・友人の魅力を発見する、ストロークシート ・看護における対人関係の重要性 等 対人関係とストレス 自分の与える印象と対人関係 人を見る目を育てる、ストロークシート 人の話を聴くこと、ストロークシート 話し合いと価値観、ストロークシート 対人関係を良くするには 全体のまとめと終講試験			講義・演習	
使用テキスト	看護の中の看護活動 中巻 二木シヅエ 水野正憲著 HATO書房				
評価方法	グループワークへの参加度と終講試験				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	生活科学	平田 美智子	1年次	単位数	1 単位
				時間数	20 時間
教育目標	生活者がよりよい生活を送るために、生活の基本的な要素である「衣」「食」「住」について科学的視点をもとに生活を見つめ直し、幅広い知識を養う。				
講義回数	講義内容			備考	
1	生活科学とは			講義	
2	家族と家庭				
3	ワークライフバランス				
4	子どもの生活				
5	今の子供たちを取り巻く環境				
6	高齢者の現状と課題				
7	衣服と健康 衣服の管理				
8	快適な住まい① 日本の住まい・世界の住まい 防災対策				
9	生活と消費者問題 環境問題 ライフスタイルとライフステージ				
10	単位認定試験				
使用 テキスト	プリント配布				
評価方法	テスト、出席、授業態度、提出物により総合的に評価します				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	英会話	宮川 久美子	ECC講師 助産師英語講師	単位数	1 単位
				時間数	3 0 時間
教育目標	国際化に向け、簡単な日常英会話ができる基礎能力を身につける。				
講義回数	講義内容			備考	
1 ～14	1. 日常英会話 1)A little about myself 2)Classroom expressions 3)Conversation Topics 4)Colors and Clothing 5)Shopping Continued ; Shopping 6)Telling Time 7)Days of the work 8)How often? 9)Information Questions 10)Since & For 11)Inventions 12)Weather 13)Weather Comparative Adjectives 14)FromAdjectives toAdverbs 15)Would you rather 16)Likes and Dislikes 17)Giving Advice 18)Being Sick				
15	まとめ 終講試験				
使用 テキスト	Modern English for Conversation Karen A. Stafford著 大学教育出版				
評価方法	学科試験				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	健康とスポーツ	福井 明美	1年次	単位数	1 単位
				時間数	3 0 時間
教育目標	1. スポーツを通じて心身の健康を育む。 2. 身体の構造や運動を理解し、生活の質の向上のための安全で効果的な運動方法を学ぶ				
講義回数	講義内容			備考	
1	「健康とスポーツ」について講義 脳トレ・ストレッチ			イス マット	
2	自分で出来るセルフコンディショニング1・リズム体操			マット 音響 バスタオル	
3	自分で出来るセルフコンディショニング2・リズム体操			マット 音響 バスタオル	
4	ヨーガ			音響 マット	
5	ピラティス			音響 マット	
6	エアロビクス			音響 マット	
7	介護施設での運動指導の実際 1 【デイサービスでの運動プログラムの体験】			音響 イス	
8	介護施設での運動指導の実際2 【介護予防での運動プログラムの体験】			音響 イス	
9	自分の体重を使ってできる筋力トレーニング サーキットトレーニング			音響 マット	
10	自分の体重を使ってできる筋力トレーニング 座ってサーキットトレーニング			音響 イス	
11	イスに座ってできる運動【座ってエアロ&ストレッチ】			音響 イス	
12	学生リクエスト 反響の大きかったもの			音響 マット イス	
13	テスト対策			音響 マット イス	
14	テスト対策			音響 マット イス	
15	テスト			音響 マット イス	
使 用 テキスト	プリント配布				
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	アクティビティワーカー	中本洋美 茅原久栄 久保美紀	看護師 音楽療法士 看護師	1年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	1. アクティビティワーカーの基礎知識を習得し、根拠に基づいた援助内容、技術を学ぶ。 2. 音楽を取り入れ、音楽の持っている力を臨床の場に活用できるように学ぶ。					
講義回数	講義内容				備考	
1	音楽とは 楽と生活 の有効性 音楽療法とは 動的音楽療法 的音楽療法 臨床での生活と音楽 今日の社会と社会福祉の動向 人間の尊厳と自立 ライフスタイル、生活様式の多様な変化 コミュニケーション レクリエーションからアクティビティへ アクティビティサービスの理念とその特徴 専門職とその役割。専門職としての人権尊重 援助の体系と連携 生活史と文化 位認定試験				音	講義・演習
2					音楽	講義・演習
3						講義・演習
4					受	講義・演習
5					能動	講義・演習
6						講義・演習
7						講義・演習
8						講義・演習
9						講義・演習
10						講義・演習
11						講義・演習
12						講義・演習
13						講義・演習
14					単	講義・演習
15						試験
使用 テキスト	新訂アクティビティ・サービス ～心身と生活の活性化を支援する～ 中央法規出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	美意識向上学	林 えり子	1年次	単位数	1 単位
				時間数	20時間
教育目標	人は老若男女問わずいつまでも美しくありたいと思っている。 まず自分が美しくなることを学び、追及して看護援助につなげられるようにする				
講義回数	講義内容			備考	
1	【ネイルケアの基礎知識と技術】 ネイルケア基礎理論				
2	ネイルケアデモンストレーション ファイリング&カラーリング				
3	【アロマセラピーとハンド&フットケアの基礎知識と技術】 アロマセラピー基礎理論 マッサージ理論				
4	ハンドマッサージ				
5	フットマッサージ				
6	【メイクアップの基礎的知識と技術】 メイクアップ基礎理論				
7	ベースメイクアップ				
8	ポイントメイクアップ				
9	【フェイシャルの基礎的知識と技術】 フェイシャル基礎理論				
10	クレンジング・洗顔 ふき取り・仕上げ				
使 用 テキスト	プリント配布				
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	薬 理 学	豊村 隆男	1年次	単位数	1 単位
				時間数	3 0 時間
教育目標	薬物の特性、作用機序、人体への影響および薬物の管理について薬理学の基礎を学習する。				
講義回数	講義内容			備考	
1回	医薬品総論①			講義	
2回	医薬品総論②				
3回	生活習慣病①				
4回	生活習慣病②				
5回	生活習慣病③				
6回	がん・痛みに使用する薬				
7回	脳・中枢神経系疾患で使用する薬①				
8回	脳・中枢神経系疾患で使用する薬②				
9回	感染症に使用する薬				
10回	アレルギー・免疫不全状態の患者に使用する薬				
11回	消化器系疾患に使用する薬①				
12回	消化器系疾患に使用する薬②				
13回	その他の症状に使用する薬①				
14回	その他の症状に使用する薬②				
15回	終講試験				
使 用 テキスト	ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ち2 臨床薬理学 メディカ出版				
評価方法	終講試験と授業態度（中間小テスト含む）				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	人体のしくみと働きⅠ (脳神経・運動器)	松本みゆき 三浦 綾	看護師 医師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	20 時間
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回～5回	【神経系】 神経系の分類 神経組織の構造と機能 中枢神経系 末梢神経系 生体のリズム 【感覚系】 感覚の特徴 視覚 聴覚と平衡覚 化学的感覚（嗅覚と味覚） 体性感覚 内臓感覚 感覚系の成長と老化 【骨格系】 骨と骨格 頭蓋、体幹の骨格 体肢の骨格 関節の構造と種類 骨格系の成長と老化 【筋系】 筋の種類 筋の機能 身体の運動と骨格筋 骨格筋の解剖生理 筋系の成長と老化				講義	
6回～10回					試験	
11回					単位認定試験	
使用 テキスト	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度など総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	人体のしくみと働きⅡ (呼吸器・循環器)	森松賢順	医師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	20 時間
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回～5回	【循環器系】 心臓 血管と循環 心臓、血管の成長と老化 リンパ系				講義	
6回～10回	【呼吸器系】 呼吸器系の構造と機能 呼吸のプロセス 呼吸の調節 呼吸器系の成長と老化				講義	
11回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度など総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	人体のしくみと働きⅢ (消化器・内分泌)	真鍋康二 景山甚郷	医師 医師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	2 0 時間
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回～5回	【消化器系】 食欲 咀嚼 嚥下 消化 吸収 排泄 消化器系の成長と老化 【内分泌系】 内分泌系とホルモン 脳にあるホルモン分泌器官 甲状腺 上皮小体 膵臓 副腎 性腺 古典的内分泌器官以外のホルモン分泌器官 内分泌系の成長と老化				講義	
6回～10回					講義	
11回					試験	
単位認定試験						
使用 テキスト	ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度など総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	人体のしくみと働きⅣ (腎泌尿器・生殖器)	青木久美子 大西信子	看護師 看護師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	20 時間
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回～5回	【泌尿器系】 腎臓 尿管 膀胱 尿道 排尿の生理 泌尿器系の成長と老化				講義	
6回～10回	【生殖器系】 女性生殖器 男性生殖器				講義	
11回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版					
参考書	ナーシングサブリ イメージできる解剖生理学 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	人体のしくみと働きⅤ (アレルギー・造血液)	豊田 真也	看護師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	20 時間
教育目標	医療専門職にとって必須であり、かつ、全ての基礎となる人体の構造と機能を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1～5回	【血液】 血液の機能と成分 血球とその機能 血液型と輸血 血液の発生 【免疫系】 免疫系のおおまかなしくみ 獲得免疫のしくみ 自然免疫系のしくみと獲得免疫系との関連 免疫系と感染症 アレルギーと自己免疫疾患 単位認定試験				講義	
6～10回					講義	
11回					試験	
使用 テキスト	ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版					
参考書	ナーシングサブリ イメージできる解剖生理学 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	日常生活行動と機能	木村匡弘	看護師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	30 時間
教育目標	解剖生理が日常生活行動にどのように作用しているかを学習し、看護技術に役立てる。					
講義回数	講義内容				備考	
1回～7回	1) 日常生活行動とは 2) 息をすること 3) 動くこと 4) 食べること 5) トイレに行くこと				講義	
8回～12回	解剖生理学を基礎とし、下記の内容に関連した看護技術演習の発表をおこなう。 1) 細胞・組織：外科病棟（無菌操作、ガウン、手洗い、スタンダードプリコーション） 2) 血液、血管、リンパ：産婦人科（胎児循環・分娩他） 3) 免疫：外科病棟（無菌操作、ガウン、手洗い、スタンダードプリコーション） 4) 循環器系：心臓外科病棟（BLS、バイタルサイン、トリアージ他） 5) 脳・神経：脳神経外科（瞳孔の見方他） 6) ホルモン：消化器内科（採血他） 7) 運動器：整形外科（包帯法、車椅子、杖、止血法） 8) 消化器：消化器内科（聴診器、輸血、食事介助、手浴、足浴他） 9) 呼吸器：呼吸器内科（酸素、吸引、食事介助他） 10) 泌尿器：泌尿器科（バルンカテーテルの取り扱い他） 11) 感覚器系：精神科（コミュニケーション、幻聴体験他）				演習	
13回～14回	看護介護技術体験教室				発表	
15回	単位認定試験				試験	
使用テキスト	ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能① 解剖生理学 メディカ出版					
参考書	ナーシングサブリ イメージできる解剖生理学 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	臨床アセスメント論	久保美紀	看護師	3 年次	単位数	1 単位
					時間数	1 5 時間
教育目標	1．画像所見・検査所見を通じて画像診断学的基礎知識を学ぶ。 2．画像所見・検査所見から疾患の現状、今後予測される状態を読み解くアセスメント能力を身につける。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	画像診断の原理（XP・CT・MRI他）				講義	
2. 3回	胸部画像診断				講義	
4. 5回	腹部画像診断				講義	
6回	頭部画像診断				講義	
7回	整形画像診断				講義	
8回	単位認定試験				試験	
使 用 テキスト	ナーシンググラフィカ 解剖生理学他 その都度指示する					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	生化学	長町 榮子	1 年次	単位数	1 単位
				時間数	3 0 時間
教育目標	人体の構成成分である化学物質の性状、その分布及び代謝について学習する。				
講義回数	講義内容			備考	
1～4	I. 生体を構成する物質 1. 生化学を学ぶ基礎知識 2. 等質 3. 脂質 4. タンパク質 5. 核酸 6. 水と電解質 7. 血液と尿 8. ホルモンと生理活性物質			講義・演習	
5～11	II. 生体内の物質代謝 1. 代謝のあらまし 2. 酵素 3. ビタミンと補酵素 4. 等質代謝 5. 脂質代謝 6. タンパク質代謝 7. 核酸代謝 8. ポルフィリン代謝 9. 代謝の異常				
12～14	III. 遺伝情報とその出現 1. 遺伝情報 2. 先天性代謝異常				
15	終講試験				
使 用 テキスト	プリント配布				
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	臨床栄養学	森 律子	1年次	単位数	1 単位
				時間数	1 5 時間
教育目標	人間にとっての栄養の意義を理解し食事療法の基礎を学習する。				
講義回数	講義内容			備考	
1	1. 臨床栄養学の基礎知識			講義	
2	2. 食品成分と食事摂取基準				
3	3. 日常生活と栄養				
4	4. 療養生活と栄養				
5.6	5. 疾患別の栄養食事療法				
7	6. 栄養指導の実際				
8	終講試験				
使用 テキスト	ナーシング・グラフィカ 臨床栄養学 メディカ出版				
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定時期	単位数	
科目名	臨床薬理	内田 早紀	看護師	2年次	単位数	1 単位
					時間数	15時間
教育目標	薬物療法に伴う生態の変化の観察と薬物を看護職の視点から学習し、薬物管理の方法を学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	医薬品総論 ・ 与薬方法と生体の変化 ・ 医薬品の適正な使用について				講義	
2回	生活習慣病に使用する薬				講義	
3回	癌・痛みに使用する薬				講義	
4回	感染症に使用する薬				講義	
5回	脳・中枢神経系疾患で使用する薬				講義	
6回	救命救急時に使用する薬				講義	
7回	アレルギー ・ 免疫不全状態の患者に使用する薬 ・ 消化器系疾患に使用する薬				講義	
8回	単位認定試験				試験	
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 疾病の成り立ち2 臨床薬理学 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定時間	単位数	
科目名	微生物・感染症学	塩田 澄子	1年次	単位数	1 単位
				時間数	30時間
教育目標	微生物が起こす感染症を取り巻く状況はめまぐるしく変化している。従来の感染症だけでなく、日和見感染や新しく出現する可能性のある感染症への対策も不可欠である。微生物の基礎はもとより、感染症予防など、さまざまな感染症対策に対応できる知識を身につけることを目的とする。				
講義回数	講義内容			備考	
1	微生物学の基礎			講義	
2	細菌の性質				
3	真菌の性質・原虫の性質・ウイルスの性質				
4	微生物感染の機構				
5	感染に対する生体防御機構 1				
6	生体防御機構 2、感染源・感染経路からみた感染症				
7	感染症の予防、感染症の検査と診断				
8	感染症の治療 1				
9	感染症の治療 2、感染症の現状と対策				
10	病原細菌と細菌感染症 1				
11	病原細菌と細菌感染症 2				
12	病原細菌と細菌感染症 3、病原真菌と真菌感染症				
13	病原原虫と原虫感染症、ウイルス感染症				
14	ウイルス感染症 2				
15	まとめ				
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 臨床微生物・医動物 メディカ出版				
評価方法	小テストによる理解度、最終試験成績で判定する。				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	疾病・治療学Ⅰ (脳神経・運動器)	半田 明 高柴賢一郎	医師 医師	1 年次	単位数	1 単位
					時間数	30時間
教育目標	各疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的変化について学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	1. 脳神経疾患の病態・診断・治療				講義 講義	
2回・3回	1) 脳の解剖整理 2) 症状と病態整理 ・意識障害 ・能機能障害 ・運動機能障害 ・反射性運動の障害 ・頭蓋内圧亢進 ・髄膜刺激症状					
4回・5回	3) 検査 ・神経学的検査 ・自律神経機能検査				講義	
6回・7回	4) 疾患の理解（症状・治療・処置を含む） ・脳疾患・脊髄疾患・抹消神経疾患・てんかん・認知症				講義	
8回・9回	1) 運動器の構造と機能 ・骨 ・間接 ・神経と筋肉 ・腱と靱帯				講義	
10回	2) 症状とその病態生理 ・疼痛・形態の異常 ・関節運動の異常 ・異常歩行または跛行 ・神経の障害				講義	
11回	3) 検査と治療・処置				講義	
12回	2. 検査 ・画像検査 ・MRI ・関節造影検査 ・骨密度の測定 ・関節鏡検査				講義	
13回	3. 治療・処置 ・保存療法 ・理学療法 ・手術療法				講義	
14回	4. 疾患の理解 ・先天性疾患 ・骨折 ・脱臼 ・骨 ・関節の炎症性疾患 ・骨腫瘍 ・麻痺性疾患 ・脊髄の疾患				講義	
15回	単位認定試験・まとめ				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカEX 脳・神経 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 運動器 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	疾病・治療学Ⅱ (呼吸器・循環器)	中本洋美 津島義正	看護師 医師	1年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	呼吸器・循環器疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的変化について学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	1. 呼吸器系疾患の病態・診断・治療				講義	
2. 3回	1) 呼吸器系の構造と機能				講義	
4. 5回	2) 症状とその病態生理 ・咳 ・喀痰 ・胸痛 ・呼吸困難				講義	
6. 7回	3) 検査と治療・処置 「検査」 ・喀痰検査 ・胸水検査 ・生検 「治療・処置」 ・人工呼吸療法 ・気道確保 ・胸腔ドレナージ				講義	
8回	4) 疾患の理解				講義	
9. 10回	・感染症 ・気道疾患 ・肺血栓塞栓症 ・呼吸不全 ・肺腫瘍				講義	
11. 12回	2. 循環器系疾患の病態・診断・治療				講義	
13. 14回	1) 循環器の構造と機能				講義	
15回	2) 症状とその病態生理 ・胸痛・動悸・浮腫・チアノーゼ・失神				講義	
	3) 検査と治療・処置 「検査」・心電図・心エコー・心臓カテーテル・動脈血ガス分析 「治療・処置」・心臓カテーテル治療・ペースメーカー・外科的治療				講義	
	4) 疾患の理解				講義	
	・虚血性心疾患・心不全・不整脈・弁膜症・心膜炎・血圧異常				講義	
	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカEX 呼吸器メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 循環器メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	疾病・治療学Ⅲ (消化器・内分泌)	山本直樹 景山甚郷	医師 医師	1年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	消化器・内分泌疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的変化について学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	【消化器】 口腔・食道の疾患				講義	
2回	胃の疾患				講義	
3回	腸・腹膜の疾患				講義	
4回	肝臓・胆管・胆嚢の疾患				講義	
5回	肝臓・胆管・胆嚢の疾患				講義	
6回	膵臓の疾患				講義	
7回	消化器疾患のまとめ				講義	
8回	【内分泌】 ホルモンとホメオスタシス				講義	
9回	下垂体の疾患				講義	
10回	甲状腺の疾患				講義	
11回	副甲状腺の疾患				講義	
12回	副腎の疾患				講義	
13回	膵島の疾患				講義	
14回	性腺・消化管ホルモン				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 消化器 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 腎/泌尿器/内分泌・代謝 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	疾病・治療学Ⅳ (腎泌尿器・生殖器)	瀧 正史 青木久美子 大久保茂美 大西信子	医師 看護師 看護師 看護師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	30時間
教育目標	腎泌尿器・脳神経疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的変化について学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1. 2回	1. 腎・泌尿器疾患の病態・診断・治療 1) 腎・泌尿器の構造と機能 ・腎の構造と機能 ・尿管の構造と機能 ・男性生殖器の構造と機能				講義	
3. 4回	2) 症状とその病態生理 ・排尿の異常 ・浮腫 ・尿毒症				講義	
5. 6回	3) 検査と治療・処置 「検査」 ・腎機能検査 「治療・処置」 ・透析療法 ・腎移植				講義	
7. 8回	4) 疾患の理解 ・腎不全 ・原発性糸球体腎炎 ・全身性疾患による腎障害 ・尿路・性器の感染症				講義	
9. 10回	性・生殖機能の障害				講義	
11. 12回	性・生殖機能障害のある患者の看護				講義	
13. 14回	乳癌				講義	
15	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカEX 腎/泌尿器/内分泌・代謝 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 女性生殖器 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	疾病・治療学Ⅴ (アレルギー・膠原病・血液)	真鍋康二 近藤敏範	医師 医師	2年次	単位数	1 単位
					時間数	30時間
教育目標	アレルギー・血液造血器疾病の原因と治療、疾病による形態的・機能的変化について学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1. 2回 3. 4回 5. 6回 7回	1. アレルギー・膠原病・感染症 ・呼吸器・消化器のアレルギー ・薬物のアレルギー・アナフィラキシー ・自己免疫疾患について ・主な感染症の診断と治療				講義 講義 講義 講義	
8. 9回 10. 11回	2. 血液、造血器系疾患の病態・診断・治療 1) 血液の生理と造血のしくみ 2) 症状とその病態生理 「治療・処置」 ・輸血・造血腫瘍治療の基本理念				講義 講義	
12～14回	4) 疾患の理解 ・赤血球系の疾患・白血球系の疾患・リンパ網内系の疾患・出血性疾患				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカEX 血液/アレルギー・膠原病/感染症 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	公衆衛生学	小寺良成	医師	3 年次	単位数	2 単位
					時間数	3 0 時間
教育目標	地域社会で生活する人々の健康の保持・増進を図る上での基本概念を理解し組織的な保健活動について学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	公衆衛生の基礎 (理念と看護の倫理)				講義	
2回	健康と環境(疥癬・食中毒)				講義	
3回	公衆衛生の技術				講義	
4回	社会保障制度と医療制度の改革				講義	
5回	地域保健 (地域差と今後の課題)				講義	
6回	母子保健 (虐待・DV)				講義	
7回	生活習慣病：癌				講義	
8回	生活習慣病：循環器系				講義	
9回	老人保健 (転倒・せん妄)				講義	
10回	精神保健				講義	
11回	感染症 (MRSA・0157)				講義	
12回	結核・HIV危機管理				講義	
13回	学校保健 (夜型生活・不登校・いじめ)				講義	
14回	産業保健 (過労死)				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 公衆衛生 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数		
科目名	社会福祉	本山喜朗	福祉施設長	3年次	単位数	2 単位	
					時間数	3 0 時間	
教育目標	社会福祉と医療・社会保障の関連と社会資源活用について学習する。						
講義回数	講義内容				備考		
1. 2回	Ⅰ．社会保障制度と社会福祉 1) 社会保障制度 2) 社会福祉法制度						
3. 4回	Ⅱ．現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向 1) 現代社会の変化 2) 社会保障・社会福祉の動向						
5. 6回	Ⅲ．医療保障						
7回	Ⅳ．介護保険						
8回	Ⅴ．所得保障						
9回	Ⅵ．公的扶助						
10. 11回	Ⅶ．社会福祉の分野とサービス						
12. 13回	Ⅷ．社会福祉実践と医療・看護						
14回	Ⅸ．社会福祉の歴史						
15回	まとめ・終講試験						
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 社会福祉と社会保障 メディカ出版						
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する						

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	関係法規	久保美紀	3 年次	単位数	1 単位
				時間数	1 5 時間
教育目標	1. 保健・医療・看護に必要な関係法規を学び、看護業務や法的内容を理解する。 2. 法のしくみや行政について理解し、保健・医療・看護に関する法規について理解する				
講義回数	講義内容			備考	
1～7	1. 保健医療福祉と法の関りかた 1) チーム医療と法の構造 2) 医療提供の理念と医療安全：医療法での扱い 2. 看護をめぐる法 3) 人に関する法律 4) 物・場所等に関する法律 5) 支えるシステムに関する法律 6) 政策に関わる基本法等の関連法令 3. 法制度を取り巻く考え方 7) インフォームドコンセント 8) 看護過誤（医療過誤） 9) 法と生命倫理				
8	単位認定試験				
使 用 テキスト	ナーシンググラフィカ 看護をめぐる法と制度 メディカ出版				
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画（シラバス）

【看護学科】

分野	専門基礎分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	障害者スポーツと医療	牧 伸哉	1 年次	単位数	1 単位
				時間数	2 0 時間
教育目標	障害学の歴史的な背景や文化を含め、障害の理解、障害者の理解を深める。				
講義回数	講義内容			備考	
1	障害者スポーツの意義と理念			講義・演習	
2	障害者スポーツ指導者制度について				
3	障害の理解とスポーツ（身体）				
4	安全管理				
5	障害の理解とスポーツ（知的）				
6	ボランティア論				
7	障害の理解とスポーツ（精神）				
8	障害者福祉施策と障害者スポーツ				
9	障害者スポーツ体験				
10	単位認定試験				
使用 テキスト	プリント配布				
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度等で総合的に判断する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野Ⅰ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	看護学概論	都筑豊 久保美紀 大菅茂美	看護師 看護師 看護師	1年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	看護全般の概念を捉え、看護師としての知識・技術・態度の根幹を自覚し、保健・医療・福祉チームの一員としての役割を学習する。また、看護の対象の命を護り、生活を支えるために必要な看護倫理について考え続けることができる。					
講義回数						備考
1回	1. 看護とは 1) 看護の原点 2) 看護の定義 3) 看護の役割と機能 4) 看護の継続性と情報共有					講義
2. 3回	2. 看護の対象の理解 1) 人間の「こころ」と「からだ」 2) 対象理解に役立つさまざまな理論と看護理論 3) 人間の「暮らし」の理解					講義
4～7回	3. 国民の健康・生活者の全体像 1) 健康とはなにか 2) 国民の健康の全体像 3) 日本人のライフサイクルと生活・健康					講義
8～10回	4. 看護の提供者 1) 職業としての看護 2) 看護職の養成制度と就業状況 3) 看護職の養成制度の課題					講義
11. 12回	5. 看護における倫理 1) 現代社会と倫理 2) 医療をめぐる倫理 3) 看護実践における倫理問題への取り組み					講義
13. 14回	6. 看護の提供のしくみ 1) サービスとしての看護 2) 看護サービス提供の場 3) 看護をめぐる制度と政策 4) 医療安全					講義
15回	単位認定試験 課題1. ナイチンゲールの考える看護 A4 1枚 A3 1枚 課題2. ヘンダーソンの考える看護 A4 1枚 A3 1枚					試験
使用テキスト	系統看護学講座 専門Ⅰ看護学概論 医学書院 よくわかる看護者の倫理綱領 照林社 看護の基本となるもの ヘンダーソン著 日本看護協会出版会 看護覚え書き 本当の看護とそうでない看護 フローレンス・ナイチンゲール著 日本看護協会出版会					
評価方法	単位認定試験(筆記試験・課題で総合評価)					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	看護研究Ⅰ（看護研究とは）	石松如子	看護師	2年次	単位数	1単位
					時間数	20時間
教育目標	看護研究に取り組むうえでの基礎的な考え方を理解し、研究目的を明らかにしながら研究計画書を作成する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	看護研究の概要				講義	
2回	研究上の問いの立て方				講義	
3回	文献の検等討と研究デザイン				講義	
4回	研究の進め方				講義	
5～7回	研究計画書の作成				演習	
8回～9回	研究計画書の発表				演習	
10回	終講試験				試験	
使用テキスト	『JJNスペシャル 看護研究の進め方 論文の書き方』医学書院					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	基礎看護学方法論Ⅰ (基礎知識)	豊田真也 中本洋美	看護師 看護師	1年次	単位数	2単位
					時間数	60時間
教育目標	医療におけるコミュニケーションの重要性、実践するための効果的な方法が理解できる。 感染予防・安全確保の基本を理解し、正しく実践することができる。 看護記録の目的と構成要素、問題解決過程の基本を理解することができる。 環境の意義がわかり、対象に応じた環境を整える基礎的知識が理解できる。 活動・休息支援の実際が理解できる。 救急救命処置の基礎知識と一次救命の実際が理解できる。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	Ⅰ. 看護技術とは何か				講義	
2～4回	Ⅱ. 人間関係を成立・発展させるための技術				講義・演習	
5～11回	Ⅲ. 快適な環境をつくる技術				講義・演習	
12～18回	Ⅳ. 感染予防を推進する技術				講義・演習	
19～20回	Ⅴ. 効率的で安楽な動きをつくり出す技術				講義・演習	
21回	Ⅵ. 活動・運動を支援する技術				講義・演習	
22回	Ⅶ. 休息・睡眠を促す技術				講義・演習	
23回	Ⅷ. 体温を調節する技術				講義・演習	
24～25回	Ⅸ. 安楽かつ快適さを確保する技術				講義・演習	
26回	Ⅹ. 安全を守る技術				講義・演習	
27～28回	Ⅺ. 救命救急処置を行う技術				講義・演習	
29回	Ⅴ. 看護を展開する技術				講義・演習	
30回	Ⅹ. 単位認定試験				筆記試験	
使用 テキスト	・MCメディカ出版 ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 ・学研 看護技術プラクティス					
評価方法	単位認定試験・出席日数・演習参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	基礎看護学方法論Ⅱ (日常生活の援助)	内田早紀 園田沙織	看護師 看護師 助産師	1年次	単位数	2単位
					時間数	60時間
教育目標	1. 栄養と食生活の意義について理解し、対象に応じた食事の援助ができる。 2. 排泄の意義を理解し、対象に応じた排泄の援助ができる。 3. 健康生活における身体の清潔の意義を理解し、清潔援助の必要性とその方法を判断できる。 4. 対象に応じた清潔援助技術が原則に基づき実施できる。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	食事・栄養の意義 食事に関する生理学的メカニズム 食事と栄養に関する基礎知識 栄養状態のアセスメント 食事・栄養に関する援助の実際				講義	
2回	食事介助				演習	
3～6回	経管栄養法の援助 経鼻胃カテーテル法の援助 経静脈栄養法 経鼻経管栄養 経管栄養法				講義 演習	
7回	排尿・排便の意義 排尿・排便の生理学的メカニズム 排尿・排便のニーズのアセスメント				講義	
8回	排尿・排便障害の種類（看護診断） 排尿・排便の援助 浣腸・摘便・ストーマケア				講義	
9回	おしめ交換 陰部洗浄				演習	
10回	導尿の意義 導尿の種類と方法				講義	
11回	一時的導尿				演習	
12回	持続的導尿				演習	
13回	グリセリン浣腸 ストーマケア				演習	
14回	まとめ				講義	
15回	終講試験				試験	
16回	清潔の意義・皮膚・粘膜のメカニズム 清潔行為とその影響・清潔のニーズ				講義	
17回	清潔のセルフケアに影響を与える要因				講義	
18～19回	身体各部のアセスメント 清潔援助技術に関連する看護診断				講義・GW	
20回	清潔の援助方法：整容・口腔ケア・入浴・シャワー浴				講義	
21回	清潔の援助方法：整容・口腔ケア・入浴・シャワー浴				演習	
22～25回	清潔の援助方法：手浴・足浴・洗髪				講義・演習	
26～29回	清潔の援助方法：全身清拭・陰部洗浄・寝衣交換				講義・演習	
30回	終講試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ基礎看護技術Ⅱ 学研 看護技術プラクティス第4版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・演習参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	基礎看護学方法論Ⅲ (診療の補助)	大西信子 高橋和代 木村匡弘	看護師 看護師 看護師	1年次	単位数	2単位
					時間数	60時間
教育目標	健康上のニーズと健康障害に対して、主な特徴に対する看護援助の方法を学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1. 2回	・ 無菌操作				講義・演習	
3回	・ 生体機能検査・医療機器				講義・演習	
4. 5回	・ 包帯法				講義・演習	
6. 7回	・ 酸素投与吸入療法				講義・演習	
8. 9回	・ 止血法・固定				講義・演習	
10回	・ 認知、知覚、BLS（JCS、GCS、心肺蘇生法）				講義	
11. 12回	・ 吸引、吸入				講義・演習	
13回	・ 化学療法、放射線治療、検査を受ける対象者への看護 ・ 健康の維持、増進（栄養・排泄・活動・休息）				講義	
14回 15回	・ 危篤・終末期における技術 単位認定試験				講義 試験	
16. 17回	・ 与薬とは				講義・演習	
18. 19回	・ 薬物療法と看護				講義・演習	
20. 21回	・ 与薬のための基礎知識				講義・演習	
22. 23回	・ 与薬のための援助技術				講義・演習	
24. 25回	・ 注射のための援助技術				講義・演習	
26. 27回	・ 輸血のための援助技術				講義・演習	
28. 29回	・ 与薬における安全管理				講義・演習	
30回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ基礎看護技術Ⅰ・Ⅱメディカ出版 学研 看護技術プラクティス第4版					
評価方法	単位認定試験 出席状況・演習など総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	ヘルスアセスメント (バイタルサイン)	松本みゆき	看護師	1年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	バイタルサインを観察することの意義・必要性が理解できる。 バイタルサイン・フィジカルアセスメントの技術を習得する。 対象者の身体状況を適切にアセスメントするための知識・技術・態度を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	ヘルスアセスメントとは				講義	
2回	フィジカルアセスメントの基本技術 問診・視診・触診・聴診・打診 聴診器の使い方				講義	
3回	バイタルサインとは 体温・脈拍・呼吸・意識				講義	
4回	血圧				講義	
5回	血圧演習				演習	
6・7回	バイタルサイン演習				演習	
8～11回	フィジカルアセスメント				講義	
12・13回	フィジカルアセスメント演習				演習	
14回	まとめ				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使 用 テキスト	メディカ出版 ナーシンググラフィカ 基礎看護技術Ⅰ メディックメディア 看護がみえるフィジカルアセスメント 学研 看護技術プラクティス第4版					
評価方法	単位認定試験 実技試験 授業・演習態度 提出物の提出状況					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	基礎看護学方法論Ⅳ (看護過程)	久保 美紀	看護師	2年次	単位数	1 単位
					時間数	30時間
教育目標	看護問題解決過程の基本を理解し、科学的根拠に基づいて実践する思考力と判断力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	1. 看護過程とは				講義	
2. 3回	2. 看護過程の展開				講義	
	1) アセスメント					
	・ 情報収集					
	・ 情報の解釈・分析					
	・ 問題の明確化					
	・ 問題の優先順位					
4. 5回	2) 計画立案				講義	
	・ 目標の設定					
	・ 看護計画の具体策					
	O P, T P, E P					
6. 7回	3) 実施・実践				講義	
8. 9回	4) 評価				講義	
10～13回	3. 事例演習				演習	
14. 15回	4. 評価				講義	
使用 テキスト	基準看護計画 照林社 疾患別看護過程の展開 学研 看護過程に沿った対症看護 学研 別途資料あり					
評価方法	単位認定試験 演習課題					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	臨床推論Ⅰ	木村匡弘	看護師	1年次	単位数	1単位
					時間数	20時間
教育目標	症状や状況に応じて、安全安楽に基礎看護技術を実施することができる。					
講義回数	講義内容				備考	
	症状の状況設定をおこない、以下の内容の看護技術を展開する					
1回	就床患者のシーツ交換・ベッドメイキング演習				講義・演習	
2回	足浴・清拭演習				講義・演習	
3回	バイタルサインの測定及び報告演習				講義・演習	
4回	コミュニケーション演習				講義・演習	
5回	環境整備演習				講義・演習	
6回	移動移送演習				講義・演習	
7～10回	実技試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ メディカ出版 学研 看護技術プラクティス第4版					
評価方法	実技試験，出席状況，参加態度，レポート等総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	在宅看護概論	内田早紀	看護師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	30時間
教育目標	1. 在宅で生活しながら療養する人々とその家族を理解し在宅における看護の基礎を学習する。 2. 他職種と協働するための看護の役割と責任について学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	1. 在宅看護の歴史と現状				講義	
2回	・欧米における訪問看護活動					
3回	・日本における在宅看護の歴史					
	・在宅看護が必要とされる社会背景					
4回	2. 在宅療養者の権利保障				講義	
5回	・人権の尊重と権利性・成年後見					
6回	・在宅看護と倫理性 ・虐待					
	・社会的機能としての看護の責務					
7回	3. 在宅における看護活動				講義	
8回	・地域ケアシステムの活用・連携の実際					
9回	・訪問看護ステーションの設置と管理運営					
10回	4. 在宅看護の特徴				講義	
11回	・医療施設看護との比較					
12回	・在宅看護設立の条件					
	・在宅看護の基本理念					
13回	5. 在宅療養者と家族				講義	
14回	・家族とは 家族機能					
	・家屋の変遷					
	・家族をとらえる視点					
15回	まとめ 終講試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 地域在宅看護論 地域療養を支えるケア メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	在宅看護方法論Ⅰ (在宅における看護技術)	木村匡弘	看護師	2年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	在宅で療養する人々の日常生活援助と診療介助技術を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回 2回	1. コミュニケーション技術 ・療養者、家族や関係職種と信頼関係を作る力 ・面接技術 ・看護介入技術				講義	
3. 4回	2. 観察技術 ・情報収集力、社会資源の最新情報を把握する力 ・生活の視点を含む観察、判断、幅広い知識				講義	
5. 6回	3. 日常生活援助技術 ・食の援助 清潔の援助 移動の援助 援助の基本とは何か ・排泄の援助 服薬の管理 呼吸の援助 リハビリテーションの援助				講義	
7～9回	4. 処置に伴う援助・補助技術 ①症状・状態別の看護 ②特殊な技術を伴う看護 在宅酸素療法 CAPD療法 ストーマケア 褥創 経管栄養 在宅中心静脈栄養の:膀胱留置カテーテルの援助 吸引吸入 気管切開口のケア 自己導尿 在宅人工呼吸療法の援助				講義 講義 講義	
10～12回	5. 療養環境の工夫 ・居室環境の整備 ・他の福祉サービスと社会資源の利用 ・介護力の活用（意欲・時間・判断・技術など）				講義 講義 講義	
13回 14回	6. 在宅における終末期の看護 ・在宅ターミナルケアの視点 ・在宅ターミナルケアの流れ ・症状コントロールの実際 ・看取りとグリーフケア				講義 講義	
15回	まとめ 終講試験				試験	
使用 テキスト	①ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版 ②ナーシンググラフィカ 地域療養を支える技術 メディカ出版 ③写真でわかる訪問看護アドバンス インターメディカ					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	在宅看護方法論Ⅱ (在宅看護のマネジメント)	森安香緒里 豊岡泰衣 安井智子	看護師 看護師 看護師	2年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	在宅看護は他の健康医療福祉チームと協働して働きかけるので看護の役割と責任を十分理解し、他のチームとマネジメントできる知識を学習する。 社会資源の活用方法について学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1. 2回	Ⅰ 関係職種と社会資源 1. 在宅看護における法規（関係法規）と関係職種 ・保健師助産師看護師法・医療法 ・関係法規、関係機関と職種、業務				講義	
3. 4回	2. 在宅看護における経済的側面と倫理的課題への対応 ・在宅看護にかかわる診療報酬の概要 ・在宅看護にかかわる診療報酬とそれらが算定される看護場面				講義	
5. 6回	3. 訪問看護師の医療行為 ・看護師の業務 ・訪問看護師の医療行為と看護判断基準の必要性				講義	
7. 8回	4. 関係職種と連携するための技術 ・社会資源およびシステムの概要を理解する ・在宅看護の立場から論理的にケースを検討できること ・ケアマネジメント・ケアコーディネーション				講義	
9. 10回	5. ケアマネージャーについて ・介護保険法の中の在宅看護の位置づけ ・介護支援専門員について ・居宅サービス計画の事例 ・介護保険法をふまえて看護職がなすべきこと				講義	
11. 12回	Ⅱ 在宅看護における倫理的課題 ・在宅看護場面における倫理的課題 ・倫理的課題への訪問看護師の対応 ・訪問看護における倫理的課題への対応モデル ・訪問看護における医療過誤の保障				講義	
13. 14回	Ⅲ 看護過程【事例展開】				講義 GW	
15回	単位認定試験					
使用テキスト	①ナーシンググラフィカ 地域療養を支えるケア メディカ出版 ②ナーシンググラフィカ 地域療養を支える技術 メディカ出版 ③写真でわかる訪問看護アドバンス インターメディカ					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	保健医療福祉連携論	三村陽子 長谷川祐子 川口直樹 森本宏 佐藤拓也	社会福祉士 管理栄養士 理学療法士 薬剤師 臨床工学技士	1年次	単位数	1 単位
					時間数	1 5 時間
教育目標	対象を取り巻く、保健医療福祉チームの専門職の理解と、それぞれの役割、チーム連携・協働等について学ぶ					
講義回数	講義内容				備考	
1回	保健医療福祉の専門職の専門性と役割				講義	
2回	介護福祉士				講義	
3回	薬剤師				講義	
4回	臨床工学技士				講義	
5回	社会福祉士				講義	
6回	理学療法士・作業療法士				講義	
7回	栄養士				講義	
8回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	緩和ケア	武田 明 山内 玲奈	医師 看護師	3年次	単位数	1 単位
					時間数	2 0 時間
教育目標	終末期にある人の緩和ケアやがん患者の看護実践をする為に必要な基礎的知識と技術を学ぶ					
講義回数	講義内容				備考	
1回	緩和ケアの歴史と現状				講義	
2回	チームアプローチ・緩和ケアの考え方				講義	
3回	緩和ケアにおける看護介入				講義	
4回	身体的ケア				講義	
5回	精神的ケア				講義	
6回	社会的ケア				講義	
7回	スピリチュアルケア				講義	
8回	緩和ケアにおける倫理的課題				講義	
9回	家族ケア				講義	
10回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 緩和ケア メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	成人看護学概論	原節子	看護師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	3 0 時間
教育目標	成人各期にある対象を成長発達段階をふまえて、身体的・心理的・社会的側面から理解する。成人期にある対象の健康に影響する因子を理解し、疾病の予防と健康を維持増進する為の看護を学習する。また、成人期である自己を理解する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	成人期にある人の理解 成長発達の特徴				講義	
2回	身体機能の特徴と看護				講義	
3回	病人の生活を理解する視点と方法				講義	
4回	健康観の多様性と看護				講義	
5回	学習の特徴と看護				講義	
6回	生活習慣に関する健康障害 自己効力				講義	
7回	職業に関連する健康障害 生活ストレスに関連する健康障害				講義	
8.9回	ストレス 危機 適応				講義	
10回	セクシュアリティに関連する健康障害				講義	
11回	セクシュアリティに関連する健康障害				講義	
12回	余暇活動に伴う健康障害 更年期に見られる健康障害 ヘルスプロモーション				講義	
13回	病みの軌跡				講義	
14回	セルフケア				講義	
15回	まとめ単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 成人看護学 成人看護学概論 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数					
科目名	成人看護学方法論Ⅰ (脳神経・運動器)	佐々江真奈美 川野 彩	看護師 看護師	2 年次	単位数	1単位				
					時間数	3 0 時間				
教育目標	成人期にある、脳神経・運動器疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。									
講義回数	講義内容				備考					
1. 2回	脳神経疾患患者の看護 1) 症状・障害を持つ患者の看護 ①意識障害②運動失調・不随意運動のある③言語障害 ④排尿障害⑤運動麻痺⑥筋力低下⑦痙攣⑧頭蓋内圧亢進症状 ⑨嚥下障害⑩呼吸障害⑪感覚障害⑫認知症⑬褥創の予防 2) 治療処置を受ける患者の看護 ①開頭術を受ける患者の看護 ②内科的治療を受ける患者の看護 ③化学療法・放射線療法を受ける患者野看護 3) 疾患を持つ患者の看護 ①脳梗塞②パーキンソン③筋萎縮性側索硬化症 ④進行性筋ジストロフィー症⑤髄膜炎⑥脳腫瘍 ⑦クモ膜下出血⑧下垂体⑨頭部外傷 運動器疾患、患者の看護 1. 援助の為に主な知識と技術 2. 症状の対する看護 ①神経麻痺②循環障害とフォルクマン③疼痛 ④出血⑤感染⑥深部静脈血栓⑦褥創 3. 検査を受ける患者の看護①脊椎造影②関節造影検査 4. 保存療法を受ける患者の看護 ①ギプス固定をする患者の看護②副子固定③牽引療法 5. 手術を受ける患者の看護 ①運動器の手術を受ける患者の看護②手の腱の手術 ③脊椎固定術④質関節固定術 6. 経過に応じた患者の看護（急性、慢性、回復、終末期） 7. 疾患を持つ患者の看護 ①大腿骨頸部骨折②腰椎③脊髄損傷 ④骨髄腫瘍⑤腰痛を訴える患者 単位認定試験				講義					
3. 4回					講義					
5. 6回					講義					
7回					講義					
8. 9回					講義					
10回					講義					
11回					講義・演習					
12回					講義					
13回					講義					
14回					講義					
15回					試験					
使用 テキスト					ナーシンググラフィカEX 脳・神経 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 運動器 メディカ出版					
評価方法					単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	成人看護学方法論Ⅱ (呼吸器・循環器)	長砂千代 平林優美	看護師 看護師	2 年次	単位数	1単位
					時間数	30 時間
教育目標	成人期にある、呼吸器・循環器疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	1. 呼吸器疾患患者の看護 1) 症状に対する看護 ①咳嗽・喀痰なる患者の看護②血痰・喀血③胸痛④呼吸困難				講義	
2回	2) 検査を受ける患者の看護 ①内視鏡②肺組織の生検				講義	
3～5回	3) 治療・処置を受ける患者の看護 ①吸入療法を受ける患者の看護②酸素療法 ③人工呼吸器を装着する患者 ④呼吸困難気管切開を受ける患者の看護 ⑤胸腔ドレナージを受ける患者看護 ⑥手術を受ける患者の看護①開胸術				講義	
6.7回	4) 疾患を持つ患者の看護 ①肺炎患者の看護②結核③気管支喘息④慢性閉塞性肺疾患 ⑤肺血栓塞栓症⑥急性呼吸促迫症候群⑦睡眠時無呼吸症候群 ⑧肺がん⑨自然気胸				講義	
8回	2. 循環器疾患患者の看護を学ぶにあたって 1) 医療の動向と患者の特徴 2) 看護の特徴と疾病の経過 3) 症状別看護 (胸痛・浮腫・チアノーゼなど)				講義	
9回	2. 検査を受ける患者の看護 1) 心臓カテーテル検査・心電図検査・運動負荷試験 2) 血行動態モニタリング (スワンガンツカテーテル・ 動脈ライン・CVPライン) 血液ガス分析				講義	
10回	3. 治療・処置を受ける患者の看護 1) 薬物療法 2) 開心術 (術前・術後・回復期) 術式による観察ポイントや補助循環装置について				講義	
11回	4. 疾患をもつ患者の看護 1) 急性冠症候群 (ACS) 患者の看護 2) 心不全・血圧異常・不整脈患者の看護				講義	
12回	5. 心臓リハビリテーションと看護 1) 循環器疾患患者看護のまとめ (科目テスト対策) 2) 看護場面のグループワーク				講義	
13回	6. 血液・造血器疾患患者の看護を学ぶにあたって 1) 医療の動向と患者の特徴と看護の役割 2) 血液の生理と造血のしくみ・検査と病態生理				講義	
14回	7. 血液・造血器疾患患者の看護 1) 看護場面のグループワーク 2) 血液・造血器疾患患者看護のまとめ (科目テスト対策)				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカEX 呼吸器 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 循環器 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	成人看護学方法論Ⅲ (消化器・内分泌)	川上雅弘 高橋和代	看護師 看護師	2 年次	単位数	1 単位
					時間数	3 0 時間
教育目標	成人期にある、消化器・内分泌疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1～3回	Ⅰ. 消化器疾患における手術療法を受ける患者の看護 1. 消化器患者の看護を学ぶにあたって 1) 医療の動向と患者の特徴 2) 看護の役割・疾患の経過と看護 2. 消化器の構造と機能 3. 患者の看護 1) 症状に対する看護 2) 検査を受ける患者の看護 3) 治療・処置を受ける患者の看護 4) 疾患の看護 ①胃十二指腸・腸・腹膜疾患患者の看護 ②肝臓・胆嚢・膵臓疾患患者の看護				講義	
4回 5～7回					講義 講義	
8～11回	Ⅰ. 内分泌疾患患者の看護 1. 内分泌疾患患者の看護 1) 下垂体疾患患者の看護 2) 甲状腺疾患患者の看護 3) 副甲状腺疾患患者の看護 4) 副腎疾患患者 2. 代謝疾患患者の看護 1) 糖尿病患者の看護 2) 脂質異常症患者の看護 3) 肥満症患者の看護 4) 尿酸代謝患者の看護				講義	
12～14回					講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカEX 消化器 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 腎/泌尿器/内分泌・代謝 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	成人看護学方法論Ⅳ (腎泌尿器・生殖器)	守屋由美子 大西信子 大久保茂美	看護師 看護師 看護師	2年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	成人期にある、腎泌尿器・生殖器疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	Ⅰ. 腎・泌尿器疾患患者の看護 1. 症状に対する看護 浮腫・高血圧・排尿障害・尿失禁・尿の正常異常・疼痛				講義	
2回	2. 検査を受ける患者の看護				講義	
3回	3. 内科治療を受ける患者の看護 (1) 治療処置を受ける患者の看護 (2) 疾患を持つ患者の看護 (3) 透析治療を受ける患者の看護				講義	
4回	Ⅱ. 泌尿器科的治療を受ける患者の看護 1) 処置を受ける患者の看護				講義	
5回	2) 手術を受ける患者の看護				講義	
6回	3) 薬物療法を受ける患者の看護				講義	
7回	4) 放射線療法を受ける患者の看護 腎移植を受ける患者の看護				講義	
8.9回	Ⅱ. 女性生殖器系の病態・診断・治療 1. 女性生殖器の構造と機能 ・女性生殖器の解剖 ・女性生殖機能の生理				講義	
10回	2. 症状とその病態生理 ・出血 ・帯下 ・外陰部痒痒感 ・不定愁訴				講義	
11.12回	3. 検査と治療・処置 「検査」 ・理学的検査 ・病理検査 「治療・処置」 ・コルポスコピー ・薬物療法 ・手術療法				講義	
13.14回	4. 疾患の理解 ・子宮の疾患 ・卵巣の疾患 ・月経異常 ・不妊症 ・乳がん				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用テキスト	ナーシンググラフィカEX 腎/泌尿器/内分泌・代謝 メディカ出版 ナーシンググラフィカEX 女性生殖器 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	成人看護学方法論Ⅴ (アレルギー・膠原病・血液)	田村幸二 松本梢	看護師 看護師	2 年次	単位数	1 単位
					時間数	3 0 時間
教育目標	成人期にある、アレルギー・膠原病・血液疾患を持つ患者の看護を実践するための基礎的な知識と技術を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1. 2回	アレルギー疾患患者の看護 1) 症状に対する看護 2) 検査を受ける患者の看護 3) 治療を受ける患者の看護 4) 疾患を持つ患者の看護				講義	
3. 4回	Ⅱ. 膠原病疾患患者の看護 1) 症状に対する看護 2) 検査を受ける患者の看護 3) 治療を受ける患者の看護 4) 疾患を持つ患者の看護				講義	
5～7回	Ⅲ. 感染症疾患患者の看護 1) 感染予防 2) 症状に対する看護 3) 検査・治療における看護 4) 疾患を持つ患者の看護 5) 感染防御				講義	
8回	・血液の組成と機能				講義	
9回	・血液・造血器の異常でみられる症候と看護 貧血, 発熱, リンパ節腫張, 易感染性, 出血傾向				講義	
10. 11回	・血液・造血器の異常でみられる検査と看護 末梢血検査, 骨髄検査, リンパ節生検他				講義	
12. 13回	・血液・造血器疾患の処置と看護 化学療法, 放射線治療, 輸血他				講義	
14回	・血液・造血器の疾患と看護 貧血, 出血傾向, 血球異常, リンパ腫他				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカEX 血液/アレルギー・膠原病/感染症 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数							
科目名	周手術期看護	津島義正 平良亮介	医師 看護師	2 年次	単位数	1 単位						
					時間数	3 0 時間						
教育目標	周手術期の治療に於ける知識技術を学ぶ。											
講義回数	講義内容				備考							
1回	I．周術期の基礎知識と生体の変化 1. 周術期に関連する基礎知識 1) 周術期看護を学ぶにあたって 2) 周術期の体験 2回 2. 外科的侵襲からの回復期の生体反応 1) 収受付きの看護は難しいか 2) 侵襲とは 3回 3. 外科的侵襲の種類 1) 手術の種類と分類 2) 身体機能の障害や問題に応じた治療 II．手術過程に応じた看護支援 4. 術前の看護 1) 主体的な治療参加への支援 2) リスクアセスメント 3) 直前の援助 6. 7回 5. 術中の看護 1) 安全な環境の管理 2) 入室から麻酔までの支援 3) 手術体位の介助 4) 術中の管理 5) 麻酔覚醒時の支援 6) 病棟への引継ぎ 8～10回 6. 術後合併症予防と発症時の支援 1) 術後のフィジカルアセスメント 2) 呼吸器合併症 3) 循環器合併症 4) 術後腸閉塞、術後イレウス 5) 術後感染 6) 縫合不全 7) 肺血栓塞栓症、深部静脈血栓症 8) 術後せん妄 9) 内視鏡手術による合併症 11～13回 III．術後の継続看護 1. 術後障害とは 2. 術後障害が及ぼす全人的な影響 3. 継続看護の必要性和影響因子 4. セルフケア技術の習得を促す援助 5. 継続看護を支える看護師間・他職種間の連携 14回 IV．日帰り手術時の看護 15回 単位認定試験											
2回												
3回												
4. 5回												
6. 7回												
8～10回												
11～13回												
14回												
15回												
使用 テキスト							ナーシング・グラフィカ 成人看護学④ 周術期看護 メディカ出版					
評価方法							単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	老年看護学概論	木村匡弘	看護師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	3 0 時間
教育目標	健康な高齢者の特徴や加齢による身体的・精神的・社会的側面の変化が、生活にどのように影響しているかを理解し、老年看護に必要な知識を学習する。					
講義回数	講義内容					備考
1. 2回	1. 老いるということ、老いを生きるということ 老年看護の入り口 「老いる」ということ 老いを生きるということ					講義
3回	2. 高齢者疑似体験、GW					講義・演習
4回	3. 高齢者疑似体験GW発表、まとめ、老年看護のなりたち					
5回	4. 高齢者のヘルスアセスメント ヘルスアセスメントの基本					講義
6回	5. 身体の高齢変化とアセスメント 皮膚とその付属器、視聴覚とその他の感覚、運動器系、ホルモンの分泌					講義
7回	6. 循環器系					講義
8回	7. 呼吸器系					講義
9回	8. 消化器系					講義
10回	9. 超高齢社会と社会保障					講義
	10. 超高齢社会の統計的輪郭					
11回	11. 高齢社会における保健医療福祉の動向					講義
12回	12. 高齢者の権利擁護					講義
13回	13. エンドオブライフケア エンドオブライフケアの概念、「生ききる」ことを支えるケア					講義
14回	14. 意思決定への支援、末期段階に求められる援助					講義
15回	15. まとめ、単位認定試験					試験
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	老年看護学方法論Ⅰ (基本技術と演習)	石松如子	看護師	2年次	単位数	1 単位
					時間数	30時間
教育目標	老年看護の特徴を理解し、その人らしい生活を支えるための基礎的な、日常生活援助の方法を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	1. 老年看護学概論の復習 老年のイメージ・疑似体験より老年期とは・高齢者の特徴 高齢者の生活機能を整える看護 日常生活を支える基本的活動				講義	
2回	2. 高齢者の生活機能を整える看護 転倒のアセスメントと看護、廃用症候群のアセスメントと看護				講義	
3回	3. 食事・食生活 高齢者における食生活の意義、高齢者に特徴的な変調				講義	
4回	4. 食生活のアセスメント、食生活の支援				講義	
5回	5. 食事介助の演習と振り返り				講義	
6回	6. 排泄 高齢者の排泄ケアの基本、排尿障害のアセスメントとケア 排便障害のアセスメントとケア				講義	
7回	7. 清潔 清潔の意義、高齢者に生じやすい清潔に関する健康課題				講義	
8回	清潔のアセスメント、清潔の援助				講義	
9回	8. 生活リズム 高齢者と生活リズム、高齢者に特徴的な変調 生活リズムのアセスメント、生活リズムを整える看護				講義	
10回	9. コミュニケーション 高齢者とのコミュニケーションと関わり方の原則 コミュニケーション能力のアセスメント 高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーションの方法				講義	
11回	10. セクシュアリティ、社会参加 高齢者におけるセクシャリティ 高齢者ケアの場における性に関する問題 セクシュアリティのアセスメント 社会参加 高齢化の現状と目指す社会の方向性 地域における高齢者の社会参加				講義	
12回	11. 生活療養の場における看護 高齢者とヘルスプロモーション 保健医療福祉施設および住居施設における看護				講義	
13回	12. 生活療養の場における看護 治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護 家族への援助、多職種連携実践による活動				講義	
14回	13. 高齢者のリスクマネジメント 高齢者と医療安全、高齢者と救命救急、高齢者と災害				講義	
15回	14. まとめと終講試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	老年看護学方法論Ⅱ (高齢者の健康障害時の看護)	近藤末美	看護師	2年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	高齢者に多い疾患と主要症状を理解し、老年者の健康障害の程度に応じた援助方法を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1. 2回	認知症と看護 認知症の概念 認知症の症状				講義	
3回	精神・神経疾患の看護				講義	
4回	循環器系の疾患の看護				講義	
5回	呼吸器系の疾患の看護				講義	
6回	消化器系の疾患の看護				講義	
7回	内分泌・代謝系の疾患の看護				講義	
8回	膠原病				講義	
9回	血液疾患の看護				講義	
10回	腎・泌尿器の疾患の看護				講義	
11. 12回	運動器の疾患の看護				講義	
13. 14回	皮膚の疾患 感覚器の疾患の看護 歯の疾患の看護 感染症				講義	
15回	まとめ・終講試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	小児看護学概論	園田沙織	助産師	1年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	子どもと家族の看護の概念と意義を理解し、子どもの特徴および成長発達過程と、日常生活援助および健康増進の援助を理解し、小児看護の目的と役割を学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	1. 小児看護の特徴と理念 1) 小児看護の目ざすところ 2) 小児と家族の諸統計				講義	
2回	2. 小児の成長・発達 1) 成長・発達とは 2) 成長・発達の進み方					
3. 4回	3. 新生児・乳児 1) 新生児 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴 2) 乳児 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴					
5回	4. 幼児・学童 1) 幼児 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴					
6回	2) 学童 (1) 形態的特徴 (2) 身体生理の特徴					
7回	5. 思春期・青年期の小児 (1) 形態的特徴 (2) 生理的特徴					
8～10回	6. 家族の特徴とアセスメント					
11. 12回	7. 小児と家族を取り巻く社会 (1) 小児をめぐる法律と政策 (2) 学校保健					
13. 14回	8. 小児のアセスメント (1) アセスメントに必要な技術 (2) 身体的アセスメント					
15回	9. まとめ 終講試験					
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 小児の発達と看護 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	小児看護学方法論Ⅰ	瀧 正史 虫明 亨祐	医師 医師	2年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	健康問題・障害を持つ小児特有の症状と病態およびその治療について学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	先天異常				講義	
2回	代謝性疾患・内分泌				講義	
3回	免疫・アレルギー疾患				講義	
4回	感染症				講義	
5回	呼吸器疾患				講義	
6回	循環器疾患				講義	
7回	消化器疾患				講義	
8回	血液・造血器疾患と悪性新生物				講義	
9回	腎・泌尿器疾患				講義	
10回	神経疾患				講義	
11回	運動器疾患・皮膚疾患				講義	
12回	眼疾患・耳鼻咽喉疾患				講義	
13回	精神疾患				講義	
14回	子供の事故・虐待				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 小児の疾患と看護 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	小児看護学方法論Ⅱ	千田京子 片山裕美	看護師 看護師	2年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	あらゆる健康レベルの子どもと家族を看護するために必要な知識と技術を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	1. 疾病・障害をもつ小児と家族の看護 1) 疾病・障害が小児と家族に与える影響 2) 小児の健康問題と看護				講義	
2～4回	2. 小児における疾病の経過と看護 1) 慢性期にある小児と家族の看護 2) 急性期にある小児と家族の看護 3) 周手術期の小児と家族の看護 4) 終末期の小児と家族の乱後				講義	
5～7回	3. 症状を示す小児の看護 1) 一般状態 2) 痛み 3) 呼吸・循環系の症状 4) 発熱 5) 消化器症状 6) 水分・電解質異常 7) 血液 8) 神経・筋症状				講義	
8回	5. 検査・処置を受ける小児の看護				講義	
9～13回	6. 内分泌疾患と看護 7. 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ性疾患と看護 8. 感染症と看護 9. 呼吸器疾患と看護 10. 循環器疾患と看護 11. 消化器疾患と看護 12. 血液造血器疾患と看護 13. 腎泌尿器疾患と看護 14. 運動器疾患と看護				講義 講義	
14回	15. 事故・外傷と看護				講義	
15回	16. 子供の虐待と看護 単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 小児看護技術 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	母性看護学概論	川西久枝	助産師	1年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	母性看護の基盤となる概念を学び、母性看護の対象（私）を理解する。また、母性の健康維持・増進（well-being）・疾病予防に必要な社会制度と資源の活用や援助方法の基礎について学び、考え、理解する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	1. 母性看護の基盤となる概念 1) 母性看護の中心概念 2) 母子看護実践を支える概念				講義	
2回	2. リプロダクティブヘルスケア ・リプロダクティブヘルス/ライツ ・セクシュアリティとジェンダー				講義	
3回	3. リプロダクティブヘルスに関する動向				講義	
4回	・出生・死亡に関する統計				講義	
5回	4. リプロダクティブヘルスに関する倫理				講義	
6回	・母性看護実践における倫理的・法的・社会的課題 ・人工妊娠中絶に関する現況、倫理的・法的・社会的課題 ・出生前診断に関する現況、倫理的・法的・社会的課題 ・生殖補助医療に関する現況、倫理的・法的・社会的課題				講義	
7回	5. リプロダクティブヘルスに関する法や施策と支援				講義	
8回	・子どもと女性の保護に関する法律				講義	
9回	・女性の就労、子育て支援に関する法律 ・暴力・虐待の防止に関する法律と支援				講義	
10回	6. 生殖に関する生理 ・男性、女性の生殖器 ・第二次性徴				講義	
11回	7. 生殖における健康問題と看護 ・月経異常 ・性感染症				講義	
12回	8. 不妊症				講義	
13回	9. 加齢とホルモンの変化 ・更年期 ・老年期				講義	
14回	10. 倫理的課題の実際				講義	
15回	11. 単位認定試験				試験	
使用テキスト	ナーシンググラフィカ 概論・リプロダクティブヘルスと看護 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	母性看護学方法論Ⅰ	高橋澄子	助産師	2年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	妊婦・産婦・褥婦・新生児の生理的变化について理解し、あらゆる健康レベルの母子とその家族を看護するために必要な知識と技術を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1～2回	子どもを産み育てることと、その看護を学ぶにあたって 出生前からのリプロダクティブヘルスケア リプロダクティブヘルスケアの必要性 遺伝相談、妊娠治療と看護				講義	
3～5回	妊娠期における看護 妊娠期の身体的特性、妊娠期の心理・社会的特性 妊婦と胎児のアセスメント、妊婦と家族の看護				講義	
6～8回	分娩期における看護 分娩の要素、経過、産婦・胎児、家族のアセスメント 産婦と家族の看護、分娩期の看護の実際				講義	
9～11回	新生児期における看護 新生児の生理、新生児のアセスメント、新生児の看護				講義	
12～14回	産褥期の看護 産褥経過、褥婦のアセスメント、褥婦と家族の看護 施設退院後の看護				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 母性看護の実践 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 母性看護技術 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	母性看護学方法論Ⅱ	秋山真穂	助産師	2年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	1. 妊娠・分娩・産褥の生理的な経過とその診断、検査について学習する。 2. 妊婦・産婦・褥婦の生理的な身体的変化とハイリスク状態について学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	遺伝相談				講義	
2回	不妊治療				講義	
3回	妊娠期の身体的特性				講義	
4回	分娩の要素				講義	
5回	分娩の経過				講義	
6. 7回	産褥経過				講義	
8. 9回	妊娠の異常				講義	
10回	分娩期の異常				講義	
11回	産褥期の異常				講義	
12回	精神障害合併妊婦				講義	
13回	新生児の生理				講義	
14回	新生児の異常				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 母性看護の実践 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 母性看護技術 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定時期	1 年次	
科目名	精神看護学概論	小川修一	看護師	1年次	単位数	1 単位
					時間数	30時間
教育目標	心の発達と心の健康に関する要因および心の健康の維持・増進のために必要な知識を学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	精神看護学の目的とカリキュラムの変遷 精神看護学の考え方				講義	
2回	心の健康とその考え方				講義	
3回	精神障害者の理解				講義	
4回	精神医療の歴史				講義	
5回	心の構造 フロイト（心的構造，局所論，発達論）				講義	
6. 7回	ライフサイクルと精神保健（乳幼児の発達課題と危機）				講義	
8回	ライフサイクルと精神保健（幼児期の発達課題と危機）				講義	
9回	ライフサイクルと精神保健（学童期の発達課題と危機）				講義	
10回	ライフサイクルと精神保健（思春期の発達課題と危機）				講義	
11回	ライフサイクルと精神保健（成人期・老年期の発達課題と危機）				講義	
12. 13回	生活の場と精神保健（家庭・学校・職場）				講義	
14回	リエゾン精神医学とリエゾン精神看護				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 ナーシンググラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 メディカ出版 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定時期	1 年次	
科目名	精神看護学方法論Ⅰ (障害をもつ人の理解)	都筑豊	看護師	1年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	精神障害の原因・症状について理解し、検査・治療の方法について学習する。					
講義回数	講義内容				備考	
1.2回	精神障害の主な検査と治療法。 診断の基礎と要点(観察, 問診, 既往歴, 生活歴, 家族歴)				講義	
3.4回	検査の種類。 神経学的検査(脳波検査, 髄液検査) 心理検査(知能テスト, 人格検査, 記銘力検査など)				講義	
5.6回	各種治療法 薬物療法, 電気痙攣療法, 社会復帰療法, 精神療法。				講義	
7～10回	主な精神障害の診断。 主な精神障害。 統合失調症, 躁鬱病, 心因反応, 人格障害, 器質性精神障害 児童・思春期の主な精神障害。				講義	
11.12回	精神障害者の抱える症状の理解。 精神症状。 精神症状の種類(知覚の障害, 思考の障害, 自我意識の障害など) 状態像(不安状態, 心気状態, 幻覚妄想状態, 抑うつ状態, 混迷など)				講義	
13.14回	中枢神経症状 神経症状の識別。 中枢神経症状の種類。				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ ナーシンググラフィカ	精神看護学① 精神看護学②	情緒発達と精神看護の基本 精神障害と看護の実践	メディカ出版 メディカ出版		
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定時期	1 年次	
科目名	精神看護学方法論Ⅱ (障害をもつ人の看護)	小川修一	看護師	2年次	単位数	2 単位
					時間数	30時間
教育目標	心の健康に問題をもつ人とその家族を理解し、対象に応じた看護ができるための基礎的な知識と技術を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	精神障害の理解 精神医療の歴史 精神障害者の現状				講義	
2回	精神障害者の理解 精神疾患のとらえかた				講義	
3回	患者家族の心理とその援助				講義	
4回	不安状態・心気状態の患者の看護				講義	
5回	幻覚・妄想状態の患者の看護				講義	
6回	強迫症状・パニック症状のある患者の看護				講義	
7回	自発的減退（自閉症状）昏迷状態の患者の看護				講義	
8回	てんかん痙攣発作時・拒絶のある患者の看護				講義	
9回	アルコール・薬物依存患者の看護				講義	
10回	躁鬱病患者の看護				講義	
11回	パーソナリティ障害者の看護				講義	
12回	アルツハイマー病・脳血管性認知症患者の看護				講義	
13回	精神科リハビリテーションの展開				講義	
14回	ロールプレイとプロセスレコード				講義	
15回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 精神看護学① 情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 精神看護学② 精神障害と看護の実践 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポート・発表等で総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	国際・災害看護	石井敦子 内門弘子	3年次	単位数	1単位
				時間数	30時間
教育目標	災害医療・国際看護活動を学ぶことにより命の大切さを実感し演習を通して専門職としての看護の役割を認識する機会とする。				
講義回数	講義内容			備考	
1～7 内門先生	国際看護学 1. 健康を取り巻く世界の情勢と国際看護 2. 国際協力の基礎知識 3. 国際協力と看護 4. わが国における文化や制度を考慮した在留外国人への看護の実践 5. 21世紀の国際協力の課題			講義 	

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	医療安全・看護管理	原節子 松本みゆき	看護師 看護師	3年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	看護サービスを提供していくための看護管理の概念を学び、看護の提供システム、看護サービスの質保証や人材育成、制度を学ぶ。					
講義回数	講義内容				備考	
1. 2回	看護管理学とは ①看護管理の定義・概念・要素・場				講義	
3. 4回	看護におけるマネジメント ①考え方と変遷 ②これからの看護職にもとめられるマネジメント				講義	
5. 6回	看護ケアのマネジメント看護職の機能 ①看護ケアのマネジメントとプロセス・機能 ②看護ケアを提供される者としての機能				講義	
7. 8回	患者権利の尊重 ①患者権利 ②インフォームドコンセント ③意志決定の支援				講義	
9回	安全管理 ①しくみ ②医療事故対策 ③院内感染対策 ④災害の予防と対応				講義	
10回	チーム医療 ①チーム医療とは・機能 ②看護職の責任と役割 ③多職種との連携・協働				講義	
11回	看護業務の実践 ①クリティカルパス・情報活用 ②看護政策の決定過程				講義	
12回	看護職のキャリアとマネジメント 看護サービスのマネジメント				講義	
13回	マネジメントに必要な知識と技術				講義	
14回	看護を取り巻く諸制度				講義	
15回	終講試験				試験	
使用 テキスト	ナーシンググラフィカ 医療安全 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 看護管理 メディカ出版					
評価方法	単位認定試験・出席日数・参加態度・レポートで総合的に判断する					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	臨床推論Ⅱ	内田早紀	看護師	2年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	症状や状況に応じて、安全安楽に基礎看護技術を実施することができる。					
講義回数	講義内容				備考	
	グループ毎に事例展開を行い、必要な看護ケア技術を考え演習する					
1～3回	看護事例について情報収集				講義	
4～6回	事例についてアセスメント				講義	
7～9回	計画立案				講義	
10～12回	計画立案に基づく看護ケアの演習				講義	
13～14回	看護ケア実技評価				演習	
15回	まとめ				試験	
使用テキスト	事例提示資料					
評価方法	単位認定試験，評価表に基づく到達度評価，出席日数，参加態度					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定時期	単位数	
科目名	臨床推論Ⅲ	青木久美子	看護師	3 年次	単位数	1単位
					時間数	1 5 時間
教育目標	症状を通して、身体の変化を推論し、緊急度や対応を判断する力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	発熱・呼吸困難				演習	
2回	低血圧 ・ 高血圧				演習	
3回	腹痛				演習	
4回	浮腫				演習	
5回	手足のしびれ				演習	
6回	救命救急法，止血法				演習	
7回	採血				演習	
8回	単位認定試験				試験	
使用 テキスト	事例提示資料					
評価方法	単位認定試験，評価表に基づく到達度評価，出席日数，参加態度					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	実務経験	講義予定時期	単位数	
科目名	看護研究Ⅱ	石松如子	看護師	3年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	看護における研究の必要性を理解し、看護研究を通して研究の過程が理解できる。 看護研究の実際を行い、研究成果を発表することができる。 研究成果を論文にまとめることができる。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	看護研究の概要				講義	
2回	研究上の問いの立て方				講義	
3回	研究の進め方				講義	
4回	研究計画書の作成				講義	
5回	事例研究の演習（論文の書き方のきまり）				演習	
6回	事例研究の演習（研究計画書の作成）				演習	
7回	事例研究の演習（ゼミ）				演習	
8回	事例研究の演習（ゼミ）				演習	
9回	事例研究の演習（ゼミ）				演習	
10回	事例研究の演習（ゼミ）				演習	
11～15回	事例研究の演習（発表）				看護研究発表	
使用 テキスト	JJNスペシャル 看護研究の進め方 論文の書き方 医学書院					
評価方法	研究内容および発表					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	基礎看護学実習Ⅰ（職場理解）	大西 信子	1年次	単位数	1単位
				時間数	40時間
教育目標	看護の活動の実際を見学することにより、看護師が働く多様な職場や看護師の役割、看護の対象について理解できる				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 4. 実習まとめ 5. まとめの発表				
使用テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	基礎看護学実習Ⅱ (環境・コミュニケーション)	豊田真也	1年次	単位数	2単位
				時間数	60時間
教育目標	入院している対象の療養生活・療養環境がわかり、対象が必要とする日常生活の実際がわかる				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 4日間 4. 実習まとめ 5. まとめの発表				
使用 テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	基礎看護学実習Ⅲ	石松如子	2年次	単位数	2単位
				時間数	80時間
教育目標	対象を理解し、科学的根拠に基づいて看護過程を展開することの必要性を理解し、看護援助を行うことができる				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 6日間 以下のことを実践 データベース 関連図 看護問題の抽出 看護計画 実施 評価 カンファレンスを含む 4. 実習まとめ 5. まとめの発表				
使 用 テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	地域・在宅看護論実習Ⅰ	内田 早紀	2年次	単位数	2単位
				時間数	80時間
教育目標	疾患や障害を抱えながら地域で生活する人々とその家族を理解し、その人らしい生活とそれを支える社会資源や看護職の果たす役割を学び、施設での生活を通して理解する				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 6日間 施設で生活する方を受け持つ 関連図作成 生活をみる 4. 実習まとめ 5. 学内 レクリエーションの実践 高齢者体験 高齢者を取り巻く制度についての確認				
使用テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	地域・在宅看護論実習Ⅱ	内田 早紀	2年次	単位数	2単位
				時間数	80時間
教育目標	疾患や障害を抱えながら地域で生活する人々とその家族を理解し、その人らしい生活とそれを支える社会資源や看護職の果たす役割を学び、訪問看護・通所において在宅看護を学ぶ				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 6日間 【訪問看護 5日間】 関連図 看護問題の抽出 看護計画 実施 評価 【通所 1日間】 在宅での生活をみる 4. 実習まとめ				
使用テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	成人看護学実習Ⅰ（急性期）	青木久美子	3年次	単位数	2単位
				時間数	80時間
教育目標	成人期にある患者の特徴と健康保持・増進について理解し、健康レベル・経過別に 応じた看護実践に必要な基礎知的知識・技術・態度を習得する 手術を受ける患者に対して適切な援助ができる				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 6日間 以下のことを実践 データベース 関連図 看護問題の抽出 看護計画 実施 評価 カンファレンスを含む 4. 手術室・ICU実習 5. まとめ				
使 用 テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	成人看護学実習Ⅱ（慢性期）	木村 匡弘	2年次	単位数	2単位
				時間数	80時間
教育目標	成人期にある患者の特徴と健康保持・増進について理解し、健康レベル・経過別に 応じた看護実践に必要な基礎知的知識・技術・態度を習得する				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 6日間 以下のことを実践 データベース 関連図 看護問題の抽出 看護計画 実施 評価 カンファレンスを含む 4. まとめ				
使用 テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	成人看護学実習Ⅲ（終末期）	高橋和代	3年次	単位数	2単位
				時間数	80時間
教育目標	成人期にある患者の特徴と健康保持・増進について理解し、健康レベル・経過別に 応じた看護実践に必要な基礎知的知識・技術・態度を習得する				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 6日間 以下のことを実践 データベース 関連図 看護問題の抽出 看護計画 実施 評価 カンファレンスを含む 4. 終末期においてのレポート 5. まとめ				
使 用 テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	老年看護学実習	原 節子	3年次	単位数	2単位
				時間数	60時間
教育目標	老年期にある対象と家族の特徴を理解し健康上の課題を総合的にとらえ、人格を尊重しながら各健康レベルに応じたその対象と家族の援助ができる基礎的能力を養う				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 6日間 以下のことを実践 データベース 関連図 看護問題の抽出 看護計画 実施 評価 カンファレンスを含む 4. 高齢者体験 5. 倫理について 6. まとめ				
使用テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	小児看護学実習	園田沙織	3年次	単位数	2単位
				時間数	80時間
教育目標	小児期にある対象の発達段階とその家族を総合的に理解し、小児看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 6日間 以下のことを実践 病院 4日間 保育園 2日間 データベース 関連図 看護問題の抽出 看護計画 実施 評価 カンファレンスを含む 4. 学内実習 遊びの援助計画 ロールプレイ 5. まとめ				
使 用 テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	母性看護学実習	園田沙織	3年次	単位数	2単位
				時間数	80時間
教育目標	周産期にある対象およびその家族を含めて統合的に理解し、母性看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 4日間 以下のことを実践 病院 4日間 データベース 関連図 看護問題の抽出 看護計画 実施 評価 カンファレンスを含む 4. 学内実習 沐浴演習 妊婦体験 周産期の実際 5. まとめ				
使用テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	精神看護学実習	中本 洋美	3年次	単位数	2単位
				時間数	80時間
教育目標	精神に障害をもつ対象の理解を深め看護の役割を学ぶとともに、実践できる基礎的能力を養う				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 7日間 以下のことを実践 【病院実習】 データベース・プロセスレコード 関連図 看護問題の抽出 看護計画 実施 評価 カンファレンスを含む 【デイケア実習】 4. まとめ				
使 用 テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【看護学科】

分野	専門分野	講師名	講義予定時期	単位数	
科目名	看護の統合実習	松本みゆき	3年次	単位数	2単位
				時間数	80時間
教育目標	これまで学んだ知識・技術・態度を統合し、保健医療チームの一員として、総合的な看護実践能力を養う				
講義回数	講義内容			備考	
	1. 全体オリエンテーション 2. 施設別オリエンテーション 3. 臨地実習 6日間 以下のことを実践 看護管理の実際 チームリーダーの役割 医療安全について 地域連携と継続看護 自己の課題 評価 カンファレンスを含む 4. まとめ				
使用テキスト	令和7年度 臨地実習要項 他				
評価方法	評価表に基づいて評価する				

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護用語基礎	久保望美	なし	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	介護用語の意味及び正しい使用方法について理解を深め、介護現場における多職種との連携に役立てることができる					
講義回数	講義内容				備考	
1回	施設における用語				講義	
2回	関係にする職種・利用者について				講義	
3回	施設・病院について				講義	
4回	身体や体調に関する用語				講義	
5回	身体の部位について				講義	
6回	病気・怪我・症状について				講義	
7回	介護に関する用語				講義	
8回	移乗・移動について				講義	
9回	食事・入浴について				講義	
10回	更衣・整容について				講義	
11回	排泄・生活援助について				講義	
12回	制度に関する用語				講義	
13回	法律・制度について				講義	
14回	保険・年金について				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	福祉倫理学	橋本 歩	なし	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	福祉の理念を理解し尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	人間の尊厳と利用者主体				講義	
2回	人間の尊厳と利用者主体				講義	
3回	人間の尊厳と利用者主体				講義	
4回	人権・福祉の理念① 人権思想の流れ				講義	
5回	人権・福祉の理念② 人権思想の流れ				講義	
6回	人権・福祉の理念③ 人権思想の流れ				講義	
7回	人権学習（ハンセン病問題）				講義	
8回	ノーマライゼーション				講義	
9回	QOL、生命倫理				講義	
10回	権利擁護				講義	
11回	自立の概念				講義	
12回	自立支援 事例演習				講義	
13回	自立支援 事例演習				講義	
14回	尊厳の保持と自立支援				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	人間関係論	安田 幸平 末利 彰	介護 福祉士	1年次	単位数	4単位
					時間数	60時間
教育目標	介護実践のために必要な人間の理解や他者への情報の伝達に必要な、基礎的なコミュニケーション能力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1～2回	対人コミュニケーションの意義・概要				講義	
3～4回	自己覚知・他者理解・ラポール(演習)				講義	
5～6回	6W1H(質問の方法・演習)				講義	
7回	対人距離(物理的・心理的距離)				講義	
8回	言語的コミュニケーション				講義	
9回	非言語的コミュニケーション				講義	
10回	傾聴、受容、共感				講義	
11回	機器や記述によるコミュニケーション				講義	
12回	人間と人間関係				講義	
13回	介護実践におけるチームマネジメント				講義	
14回	総合的コミュニケーション演習				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
16～19回	介護サービスの特性と求められるマネジメント				講義	
20～22回	組織と運営管理				講義	
23～26回	チーム運営の基本				講義	
27～29回	人材の育成と管理				講義	
30回	まとめ・科目試験					
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	家族・高齢者福祉学	橋本 歩	なし	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につける。介護実践に必要な知識という観点から、社会保障の制度・施策についての基礎的な知識を身につける。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	生活の基本機能				講義	
2回	ライフスタイルの変化、家族				講義	
3回	社会、組織、				講義	
4回	地域、地域社会、地域社会における生活支援				講義	
5回	地域福祉の発展				講義	
6回	地域共生社会、地域包括ケア				講義	
7回	社会保障の基本的な考え方				講義	
8回	日本の社会保障制度の発達				講義	
9回	日本の社会保障制度のしくみの基礎的理解①				講義	
10回	日本の社会保障制度のしくみの基礎的理解②				講義	
11回	日本の社会保障制度のしくみの基礎的理解③				講義	
12回	日本の社会保障制度のしくみの基礎的理解④				講義	
13回	日本の社会保障制度のしくみの基礎的理解⑤				講義	
14回	現代社会における社会保障制度の課題				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	社会福祉学	橋本 歩	なし	2年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	介護実践に必要な知識という観点から、社会保障の制度・施策についての基礎的な知識を身につける。介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	高齢者福祉と介護保険制度	高齢者福祉の動向			講義	
2回	高齢者福祉と介護保険制度	高齢者福祉に関連する法律と制度			講義	
3回	高齢者福祉と介護保険制度	介護保険制度の創設の背景と目的			講義	
4回	高齢者福祉と介護保険制度	介護保険制度のしくみ			講義	
5回	高齢者福祉と介護保険制度	介護保険制度のしくみ			講義	
6回	高齢者福祉と介護保険制度	介護保険制度における組織・団体の役割			講義	
7回	高齢者福祉と介護保険制度	介護保険制度の動向、改正			講義	
8回	障害者福祉と障害者保健福祉制度	障害者保健福祉の動向、法体系			講義	
9回	障害者福祉と障害者保健福祉制度	障害者総合支援制度のしくみ			講義	
10回	障害者福祉と障害者保健福祉制度	障害者総合支援制度のしくみ			講義	
11回	介護実践に関連する諸制度	個人の権利を守る制度の概要			講義	
12回	介護実践に関連する諸制度	個人の権利を守る制度の概要			講義	
13回	介護と関連領域との連携に必要な制度	保健医療に関する施策の概要			講義	
14回	介護と関連領域との連携に必要な制度	生活保護制度の概要			講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護管理	太田 操子	なし	2年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	介護保険制度のしくみや事務管理について理解できる。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	介護保険制度のしくみ				講義	
2回	介護サービスの種類と内容				講義	
3回	支給限度額のしくみ、請求と支払いのしくみ				講義	
4回	介護報酬の特徴と原則				講義	
5回	介護報酬の算定（居宅サービス）				講義	
6回	介護レセプトの書き方（居宅サービス）				講義	
7回	介護報酬の算定（施設サービス）				講義	
8回	医療保険との関係、公費負担医療との関係				講義	
9回	介護レセプトの書き方（施設サービス）				講義	
10回	利用者負担の徴収、受付の基本知識				講義	
11回	ケアマネジャーの業務内容				講義	
12回	ケアプラン作成の流れ				講義	
13回	給付管理業務（概論）				講義	
14回	給付管理業務（実務編）				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	福祉ストラテジー	東 潤一 橋本歩 角江津子 高畑亜弥 西蓮太郎	なし	2年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	社会保障制度のしくみを理解し、今後の介護福祉戦略を考える。 介護福祉の基盤となる介護保険制度を活用し、実践的な介護福祉士の力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	1：社会保障制度の概略				講義	
2回	2：社会保障のしくみの理解				講義	
3回	3：社会福祉の法体系				講義	
4回	4：サービス利用方式				講義	
5回	5：社会保障の種類と給付費				講義	
6回	6：高齢者・障害者福祉の歴史				講義	
7回	7：医療保険制度のしくみの理解				講義	
8回	8：医療保険制度のしくみの理解				講義	
9回	9：年金保険制度のしくみの理解				講義	
10回	10：年金保険制度のしくみの理解				講義	
11回	11：介護保険制度のしくみの理解				講義	
12回	12：介護サービスの種類と内容				講義	
13回	13：支給限度額のしくみ、請求と支払いのしくみ				講義	
14回	14：労働関連の法律の理解				講義	
15回	15：まとめ・試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	アクティビティ論	東 潤一	介護福祉士	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	1. 介護の基本となるべく、社会参加、活動へ働きかける、生活の活性化、心身の活性化のための援助について理解する。 2. アクティビティサービスの基礎知識を習得し、根拠に基づいた援助内容、技術について理解する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	今日の社会と社会福祉の動向				講義	
2回	人間の尊厳と自立				講義	
3回	ライフスタイル、生活様式の多様な変容				講義	
4～5回	コミュニケーション				講義	
6～7回	レクリエーションからアクティビティへ ～語源と歴史的背景～				講義	
8～9回	アクティビティ・サービスの理念とその役割				講義	
10～11回	専門職とその役割				講義	
12回	専門職としての人権尊重				講義	
13回	援助の体系と連携				講義	
14回	生活史と文化				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および提出物評価並びに試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	情報科学	田邊 敬	なし	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	インターネットを活用し、様々な文化や価値観を背景する人々の理解や国際的な視野を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	インターネットの活用				講義・演習	
2回	インターネットの活用				講義・演習	
3回	インターネットの活用				講義・演習	
4回	インターネットの活用				講義・演習	
5回	インターネットの活用				講義・演習	
6回	マイクロソフトオフィスの基礎				講義・演習	
7回	マイクロソフトオフィスの基礎				講義・演習	
8回	マイクロソフトオフィスの基礎				講義・演習	
9回	マイクロソフトオフィスの基礎				講義・演習	
10回	マイクロソフトオフィスの基礎				講義・演習	
11回	マイクロソフトオフィスの基礎				講義・演習	
12回	マイクロソフトオフィスの基礎				講義・演習	
13回	マイクロソフトオフィスの基礎				講義・演習	
14回	マイクロソフトオフィスの基礎				講義・演習	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	人間と社会	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	薬剤基礎	久保美紀 内田早紀	看護師	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	医薬品の基本的知識を習得し、人体の働きと医薬品の作用について理解できる。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	医薬品に共通する特性と基本的な知識				講義	
2回	医薬品の効能や安全に影響を与える要因				講義	
3回	適切な医薬品選択と受診推奨				講義	
4回	人体の働きと医薬品				講義	
5回	薬が働く仕組み				講義	
6回	症状から見た副作用				講義	
7回	主な医薬品とその作用				講義	
8回	各症状・器官に作用する薬				講義	
9回	各症状・器官に作用する薬				講義	
10回	薬事関係法規・制度				講義	
11回	医薬品の分類・取り扱い等				講義	
12回	医薬品販売に関する法令順守				講義	
13回	医薬品の適正使用・安全対策				講義	
14回	医薬品の副作用等による健康被害の救済				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護実習Ⅱ	東潤一 橋本歩 角江津子 高畑亜弥 熱田和香 西宇可奈子 中川忍	介護福祉士 看護師	2年次	単位数	6単位
					時間数	270時間
教育目標	地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を習得する学習とする。本人の望む生活の実現に向けて、多職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	Ⅱ-① 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設（112.5時間） 特養・老健：個別の利用者とのかかわり、介護過程のプロセスを理解する。				演習	
2回	Ⅱ-② 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設（157.5時間） 特養・老健：介護過程の一連を実践する。 【学習内容】 ・介護過程の実践的展開 ・実習を通じた介護過程の展開 ・多職種協働の実践 ・実習を通じた多職種連携の実践 ・地域における生活支援の実践 ・対象者の生活と地域との関わり ・地域拠点としての施設・事業所の役割				演習	
評価方法	成績評価：実習状況・内容・記録・提出物（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護福祉概論	東 潤一	介護福祉士	1年次	単位数	4単位
					時間数	60時間
教育目標	「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解し、「介護を必要とする人」を生活の観点から捉える能力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1～2回	介護の歴史				講義	
3～4回	介護問題の背景 少子高齢化、家族機能の変化、介護の社会化、高齢者虐待、介護ニーズの変化など				講義	
5～6回	社会福祉士及び介護福祉士法				講義	
7～8回	専門職能団体の活動				講義	
9～10回	QOL・ノーマライゼーションの考え方				講義	
11～12回	利用者主体の考え方				講義	
13～14回	自立支援の考え方・具体的展開				講義	
15回	まとめ・確認				講義	
16～17回	個別ケアの考え方・具体的展開				講義	
18～19回	ICFの考え方・ICFに基づく利用者のアセスメント				講義	
20～21回	リハビリテーションの考え方と実際				講義	
22～23回	人間の多様性・複雑性の理解				講義	
24～25回	高齢者の暮らしの実際				講義	
26～27回	障害のある人の暮らしの理解				講義	
28～29回	介護を必要とする人の生活環境の理解				講義	
30回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および提出物評価並びに試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護援助論	橋本歩 西蓮太郎	介護 福祉士	1年次	単位数	4単位
					時間数	60時間
教育目標	介護における介護サービスおよびチームケアについて理解する。					
講義回数	講義内容				備考	
1～2回	生活の理解				講義	
3～4回	介護福祉を必要とする人たちの暮らし				講義	
5～6回	高齢者の生活を支えるフォーマルサービス				講義	
7～8回	生活を支える仕組み				講義	
9～10回	障害者の生活を支えるフォーマルサービス				講義	
11～12回	生活を支えるインフォーマルサービス				講義	
13～14回	地域連携について				講義	
15回	まとめ・確認				講義	
16～17回	スマート介護士とは				講義	
18～19回	スマート介護士概論				講義	
20～21回	ケアニック基礎論				講義	
22～23回	ケアニック基礎論				講義	
24～25回	ケアニック基礎論				講義	
26～27回	科学的介護の実践理論				講義	
28回	科学的介護の実践理論				講義	
29回	スマート介護士応用				講義	
30回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護福祉実践論	東 潤一	介護福祉士	2年次	単位数	4単位
					時間数	60時間
教育目標	介護における安全について理解し、利用者の安全や介護従事者の安全に配慮した介護を 実践する能力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	利用者の人権と介護:身体拘束禁止、高齢者虐待、児童虐待				講義	
2回	プライバシーの保護:個人情報保護、その他				講義	
3回	介護における安全の確保:観察、正確な技術、予測、分析				講義	
4～5回	事故防止、安全対策:セーフティマネジメント、緊急連絡システム、				講義	
6～7回	転倒・転落防止、骨折予防、防火・防災対策、利用者の生活の安全				講義	
8～9回	感染対策:感染予防の意義と介護、感染予防の基礎知識、				講義	
10～11回	感染予防の技術、感染管理、衛生管理、その他				講義	
12～13回	健康とは何か				講義	
14回	環境と健康				講義	
15回	まとめ・確認				講義	
16回	職業病の発生原因、主な職業病				講義	
17～18回	労働災害と事故:労働条件、作業方法、作業環境、健康管理				講義	
19～20回	労働と余暇				講義	
21～22回	労働とこころの健康:心の病気、うつ病、心身症				講義	
23～24回	介護従事者の健康管理:身体面、精神面、感染症予防、腰痛予防、				講義	
25～26回	メンタルヘルス				講義	
27回	介護従事者の安全に関する法律				講義	
28回	労働基準法				講義	
29回	労働安全法				講義	
30回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価:授業態度および提出物評価並びに試験得点(100点満点)					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	コミュニケーション援助法	小倉 毅	介護福祉士	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	介護を必要とする人とのコミュニケーション				講義	
2回	介護を必要とする人とのコミュニケーション				講義	
3回	介護を必要とする人とのコミュニケーション				講義	
4回	コミュニケーションの実際				講義	
5回	コミュニケーションの実際				講義	
6回	コミュニケーションの実際				講義	
7回	コミュニケーションの実際				講義	
8回	コミュニケーションの実際				講義	
9回	家族とのコミュニケーション				講義	
10回	家族とのコミュニケーション				講義	
11回	家族とのコミュニケーション				講義	
12回	家族とのコミュニケーションの実際				講義	
13回	家族とのコミュニケーションの実際				講義	
14回	家族とのコミュニケーションの実際				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	コミュニケーションの実際	橋本歩	介護福祉士	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	本人、家族等との関係性の構築やチームケアを実践するための、コミュニケーションの基礎的な知識・技術を習得する。対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護過程を展開できる能力を養う。介護実践における安全を管理するための基礎的な知識・技術を習得する。各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	コミュニケーション障害とは				講義	
2回	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際①				講義	
3回	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際②				講義	
4回	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際③				講義	
5回	障害の特性に応じたコミュニケーションの実際④				講義	
6回	介護におけるチームのコミュニケーション				講義	
7回	チームのコミュニケーションの意義				講義	
8回	チームコミュニケーションの実際				講義	
9回	コミュニケーションの基本的な心構え				講義	
10回	被援助者との関係を築くコミュニケーション①				講義	
11回	被援助者との関係を築くコミュニケーション②				講義	
12回	被援助者の理解と情報の交換、行動化の支援①				講義	
13回	被援助者の理解と情報の交換、行動化の支援②				講義	
14回	その人らしさを大切にするコミュニケーション				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	生活支援法	角 江津子 西宇 可奈子 西蓮太郎	介護 福祉士	1年次	単位数	4単位
					時間数	60時間
教育目標	生活支援の考え方を理解し、自立に向けた安全で心地よい生活環境の整備について理解を深める。また、移動の意義・目的について理解し、その生活支援技術を身につける。					
演習回数	演習内容				備考	
1～2回	生活の理解				演習	
3～4回	生活支援とは				演習	
5～6回	生活支援技術とは				演習	
7～11回	生活支援技術におけるコミュニケーションとは				演習	
12～14回	観察の技法				演習	
	(生活状態・社会的側面の観察、知的・心理状態の 観察、健康状態の把握)				演習	
15回	まとめ・確認				演習	
16～19回	運動・移動における介護の原則 (ボディメカニクス)				演習	
20～25回	安楽の技法(安楽な姿勢、体位と用具)				演習	
26～29回	運動・移動の技法				演習	
	(ベッド上の移動、歩行介助の技法、移動の技法)				演習	
30回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および実技得点並びに試験得点 (100点満点)					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分 野		介 護	講 師 名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	生活支援実践	角 江津子 西宇 可奈子 西蓮太郎	介護福祉士	1年次	単位数	4単位	
					時間数	60時間	
教育目標	日常生活における基本介護の技法を理解し習得する。						
演習回数	演習内容					備考	
1～2回	日常生活における基本介護の技法					演習	
3回	食事の意義と目的					演習	
4～5回	食事の介護					演習	
6～7回	口腔ケア					演習	
8回	排泄の意義と目的					演習	
9～10回	排泄の介護					演習	
11回	身支度の意義と目的、身だしなみの介護					演習	
12～14回	着脱の介護					演習	
15回	まとめ・確認					演習	
16～17回	清潔保持の介護					演習	
18～20回	入浴の介護					演習	
21～22回	部分浴					演習	
23～24回	清拭					演習	
25～26回	洗髪					演習	
27回	睡眠の援助					演習	
28回	褥瘡					演習	
29回	褥瘡予防					演習	
30回	まとめ・科目試験					試験	
評価方法	成績評価：授業態度および実技得点並びに試験得点（100点満点）						

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	生活支援技術演習	高橋 洋二	介護福祉士	1年次	単位数	4単位
				2年次	時間数	60時間
教育目標	心身に障害のある人への自立に向けた介護について理解する。					
演習回数	演習内容				備考	
1～3回	視覚障害者の理解・介護				演習	
4～5回	聴覚・言語障害者の理解・介護				演習	
6～7回	盲ろう者の理解・介護				演習	
8～9回	運動機能障害者の理解・介護				演習	
10～12回	内部障害者の理解・介護				演習	
	心臓機能障害、腎臓機能障害、呼吸器機能障害、膀胱・直腸機能障害、肝臓機能障害				演習	
13～14回	知的障害者の理解・介護				演習	
15回	まとめ・確認				演習	
16～18回	精神障害者の理解・介護				演習	
19～21回	高次脳機能障害者の理解・介護				演習	
22～25回	発達障害者の理解・介護				演習	
26～28回	重複障害者の理解・介護				演習	
29回	認知症の人に応じた介護				演習	
30回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	衣・食・住の実際	平田 美智子	なし	1年次	単位数	4単位
		橋本歩			時間数	60時間
教育目標	尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	居住環境整備の意義と目的				講義	
2回	自立に向けた居住環境整備の視点				講義	
3回	居住環境整備の基本となる知識				講義	
4回	居住環境整備の基本となる知識				講義	
5回	居住環境整備の基本となる知識				講義	
6回	居住環境整備の基本となる知識				講義	
7回	対象者の状態・状況に応じた留意点				講義	
8回	対象者の状態・状況に応じた留意点				講義	
9回	福祉用具活用の意義と目的				講義	
10回	自立に向けた福祉用具活用の視点				講義	
11回	適切な福祉用具の選択の知識と留意点				講義	
12回	適切な福祉用具の選択の知識と留意点				講義	
13回	適切な福祉用具の選択の知識と留意点				講義	
14回	今後の福祉機器とICTの広がり				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
16回	家事の意義と目的				講義	
17回	家事の意義と目的				講義	
18回	自立に向けた家事支援の視点				講義	
19回	自立に向けた家事支援の視点				講義	
20回	家事支援の基本となる知識と技術				演習	
21回	家事支援の基本となる知識と技術				演習	
22回	家事支援の基本となる知識と技術				演習	
23回	家事支援の基本となる知識と技術				演習	
24回	家事支援の基本となる知識と技術				演習	
25回	家事支援の基本となる知識と技術				演習	
26回	家事支援の基本となる知識と技術				演習	
27回	家事支援の基本となる知識と技術				演習	
28回	家事支援の基本となる知識と技術				演習	
29回	対象者の状態に応じた留意点				演習	
30回	まとめ・評価				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	生活支援リハビリ	角 江津子 熱田 和香 東 潤一 筒井 恵子 林 えり子	介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 福祉施設施設長 メイクアップ アーティスト	2年次	単位数	4単位
					時間数	60時間
教育目標	自立に向けた介護、リハビリテーションや介護予防についての理解を深め、その手法を身につける。					
演習回数	演習内容				備考	
1回	リハビリテーションの考え方及び実際 (リハビリテーションと介護・リハビリテーション方法論)				演習	
2回	廃用症候群とその防止・軽減について				演習	
3回	障害の種別とその様子				演習	
4回	介護保険における住宅改修・福祉用具について				演習	
5回	介護予防について				演習	
6回	生活リハビリについて				演習	
7回	リハビリテーションの実際 (介護保険施設でのリハビリテーション・地域におけるリハビリテーションの展開過程)				演習	
8回	転倒予防				演習	
9回	失禁予防				演習	
10回	低栄養予防				演習	
11～12回	事例演習				演習	
13～14回	事例演習（応用）				演習	
15回	まとめ・確認				演習	
16～19回	音楽療法				演習	
20～21回	園芸療法				演習	
22～23回	アニマルセラピー				演習	
24～29回	ネイルケア・メイク・ヘアブロー・シャンプー等				演習	
30回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介 護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護過程入門	角 江津子	介護福祉士	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる介護過程展開の能力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1～2回	介護過程の意義と目的・目標				講義	
3～4回	介護過程の展開の基本				講義	
5～7回	情報収集とアセスメント ・介護実践に必要な情報 ・情報源と情報の収集の方法 ・アセスメントの方法				講義	
8～10回	課題・目標 ・生活支援の課題、目標の捉え方				講義	
11～12回	実施				講義	
13～14回	評価 ・評価の目的、内容、方法				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護過程演習Ⅱ	角江津子	なし 介護福祉士	2年次	単位数	4単位
					時間数	60時間
教育目標	介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を習得する。本人・家族等との関係性の構築やチームケアを実践するための、コミュニケーションの基礎的な知識・技術を習得する。対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護課程を展開できる能力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1～4回	介護過程とチームアプローチ				講義	
5～9回	介護過程とチームアプローチ				演習	
10～12回	介護福祉職チームと介護過程				講義	
13～15回	介護福祉職チームと介護過程				講義	
16～18回	介護福祉職チームと介護過程				演習	
19～21回	介護過程と多職種連携				講義	
22～24回	介護過程と多職種連携				講義	
25～27回	介護過程と多職種連携				演習	
28～30回	介護過程の展開の理解				講義	
31～33回	介護過程の展開の理解				講義	
34～36回	介護過程の展開の理解				演習	
37～40回	対象者の状態・状況に応じた介護過程の展開				講義	
39～41回	対象者の状態・状況に応じた介護過程の展開				講義	
42～44回	対象者の状態・状況に応じた介護過程の展開				演習	
45回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護過程演習Ⅰ	角江津子	なし 介護福祉士	2年次	単位数	2単位
					時間数	30 時間
教育目標	介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を習得する。本人・家族等との関係性の構築やチームケアを実践するための、コミュニケーションの基礎的な知識・技術を習得する。対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための介護課程を展開できる能力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1	1 介護過程とチームアプローチ				講義	
2	2 介護過程とチームアプローチ				演習	
3	3 介護過程とチームアプローチ				講義	
4	4 介護過程とチームアプローチ				講義	
5	5 介護過程とチームアプローチ				演習	
6	6 介護過程とチームアプローチ				講義	
7	7 介護過程とチームアプローチ				講義	
8	8 介護過程とチームアプローチ				演習	
9	9 介護過程とチームアプローチ				講義	
10	10 介護福祉職チームと介護過程				講義	
11	11 介護福祉職チームと介護過程				演習	
12	12 介護福祉職チームと介護過程				講義	
13	13 介護福祉職チームと介護過程				講義	
14	14 介護福祉職チームと介護過程				演習	
15	15 まとめ・評価				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護過程の実践	東潤一 橋本歩 角江津子 高畑亜弥 熱田和香	介護福祉士	2年次	単位数	4単位
					時間数	60時間
教育目標	本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を習得する学習とする。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	介護過程事例・まとめ（事例整理）				講義	
2回	介護過程事例・まとめ（事例整理）				講義	
3回	介護過程事例・まとめ（原稿作成）				講義	
4回	介護過程事例・まとめ（原稿作成）				講義	
5回	介護過程事例・まとめ（パワーポイント作成）				講義	
6回	介護過程事例・まとめ（パワーポイント作成）				講義	
7回	介護過程事例・まとめ（パワーポイント作成）				講義	
8回	事例発表				演習	
9回	事例発表				演習	
10回	事例発表				演習	
11回	事例発表				演習	
12回	事例発表				演習	
13回	事例発表				演習	
14回	事例発表				演習	
15回	事例発表				演習	
評価方法	成績評価：授業状況・提出物・発表内容（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護総合演習Ⅰ	角江津子 西蓮太郎	看護師 介護福祉士	1年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	知識と技術の統合				演習	
2回	介護総合演習の意義・目的				演習	
3回	実習に関する基礎知識				演習	
4回	実習に関する基礎知識				演習	
5回	実習に関する基礎知識				演習	
6回	実習に関する基礎知識				演習	
7回	実習に関する基礎知識				演習	
8回	実習に関する基礎知識				演習	
9回	実習に関する基礎知識				演習	
10回	実習準備				演習	
11回	実習準備				演習	
12回	実習の振り返り				演習	
13回	実習の振り返り				演習	
14回	実習の振り返り				演習	
15回	まとめ・評価				演習	
評価方法	成績評価：試験・授業状況・提出物（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護総合演習Ⅱ	高畑亜弥	介護福祉士	1年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	知識と技術の統合				演習	
2回	介護総合演習の意義・目的				演習	
3回	実習に関する基礎知識				演習	
4回	実習に関する基礎知識				演習	
5回	実習に関する基礎知識				演習	
6回	実習に関する基礎知識				演習	
7回	実習に関する基礎知識				演習	
8回	実習準備				演習	
9回	実習準備				演習	
10回	実習準備				演習	
11回	実習の振り返り				演習	
12回	実習の振り返り				演習	
13回	実習の振り返り				演習	
14回	実習の振り返り				演習	
15回	まとめ・評価				演習	
評価方法	成績評価：試験・授業状況・提出物（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護総合演習Ⅲ	高畑亜弥	介護福祉士	2年次	単位数	2単位
					時間数	60時間
教育目標	介護実践に必要な知識と技術の統合を行うとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	知識と技術の統合				演習	
2回	介護総合演習の意義・目的				演習	
3回	実習に関する基礎知識				演習	
4回	実習に関する基礎知識				演習	
5回	実習に関する基礎知識				演習	
6回	実習に関する基礎知識				演習	
7回	実習に関する基礎知識				演習	
8回	実習準備				演習	
9回	実習準備				演習	
10回	実習の振り返り				演習	
11回	実習の振り返り				演習	
12回	実習の振り返り				演習	
13回	実習の振り返り				演習	
14回	実習の振り返り				演習	
15回	まとめ・評価				演習	
1回	16 実習に関する基礎知識				演習	
2回	17 実習に関する基礎知識				演習	
3回	18 実習に関する基礎知識				演習	
4回	19 実習に関する基礎知識				演習	
5回	20 実習の振り返り				演習	
6回	21 実習の振り返り				演習	
7回	22 実習の振り返り				演習	
8回	23 介護実践の科学的探求				演習	
9回	24 介護実践の科学的探求				演習	
10回	25 介護実践の研究				演習	
11回	26 介護実践の研究				演習	
12回	27 介護実践の研究				演習	
13回	28 介護実践の研究				演習	
14回	29 介護実践の研究				演習	
15回	30 まとめ・評価				演習	
評価方法	成績評価：試験・授業状況・提出物（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	介護実習Ⅰ	東潤一 橋本歩 角江津子 高畑亜弥 熱田和香 西宇可奈子 中川忍	介護福祉士 看護師	1年次	単位数	4単位
					時間数	180時間
教育目標	地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を習得する学習とする。本人の望む生活の実現に向けて、多職種との協働の中で、介護過程を実践する能力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	Ⅰ-① 小規模多機能居宅介護（30時間） 円滑なコミュニケーションを図りながら、様々な利用者の理解及びサービス種別の理解を深める。				演習	
2回	Ⅰ-② グループホーム（30時間） 円滑なコミュニケーションを図りながら、様々な利用者の理解及びサービス種別の理解を深める。				演習	
3回	Ⅰ-③ 特養・老健（60時間） 生活の支援を必要とする方とのコミュニケーション能力を養う。				演習	
4回	Ⅰ-④ 障害者（30時間） 円滑なコミュニケーションを図りながら、様々な利用者の理解及びサービス種別の理解を深める。				演習	
5回	Ⅰ-⑤ 通所介護・通所リハビリ（30時間） 高齢者の生活の場は様々であることやその特徴の理解を深め、そこで生活する利用者の個別性を理解する。 【学習内容】 ・介護過程の実践的展開 ・実習を通じた介護過程の展開 ・多職種協働の実践 ・実習を通じた多職種連携の実践 ・地域における生活支援の実践 ・対象者の生活と地域との関わり ・地域拠点としての施設・事業所の役割				演習	
評価方法	成績評価：実習状況・内容・記録・提出物（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	ところとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	医学概論	中川 忍	看護師	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	生活支援技術の根拠となる人体の構造を理解する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	人体各部の名称、細胞・組織・臓器の関連				講義	
2回	骨と関節・関節可動域				講義	
3回	骨と筋肉系・ボディメカニクス				講義	
4～7回	生命の維持恒常のしくみ： ・体温、脈拍、呼吸、血圧、その他 ・神経の興奮と伝達 ・体液とその組成 ・循環と血液 ・呼吸とガス交換 ・消化と吸収 ・尿の生成と排泄 ・ホルモンの作用 ・感覚器の構造と機能 ・生殖器系 ・免疫の役割 ・遺伝のしくみ				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	
8回	高齢者の症状・疾患の特徴				講義	
9回	高齢者に多い症状・訴えとその留意点				講義	
10～13回	高齢者に多い疾患とその留意点 ・生活習慣病 ・骨、関節系の疾患 ・歯、口腔の疾患 ・目の疾患 ・耳の疾患 ・皮膚疾患 ・呼吸器疾患 ・腎、泌尿器疾患 ・脳、神経系疾患 ・消化器疾患 ・循環器疾患 ・精神疾患 ・介護保険の特定疾病				講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義	
14回	保健医療職との連携				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度及び試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	生涯発達論	津田君江	看護師	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	発達の観点からの老化を理解する。					
講義回数	講義内容				備考	
1～3回	老化'老い'について考える				講義	
4～6回	人間の成長と発達～定義・段階・課題～				講義	
7～9回	老年期の定義				講義	
10～14回	老年期の発達課題				講義	
	・人格と尊厳				講義	
	・老いの価値				講義	
	・喪失体験				講義	
	・セクシュアリティ				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および提出物評価並びに試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	ところとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	高齢者の健康と障害	津田君江	看護師	2年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得する学習とする。					
講義回数	講義内容				備考	
1～2回	老化に伴う心身の変化の特徴				講義	
3～4回	老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響： 身体的機能の変化、知的・認知機能の変化、精神的機能の変化				講義	
5～9回	高齢者の心理 ・老化を受け止める高齢者の気持ち ・社会や家庭での役割を失う高齢者の気持ち ・障害を受け止める高齢者の気持ち ・友人との別れを受け止める高齢者の気持ち ・経済的不安を抱える高齢者の気持ち ・その他				講義	
10～11回	高齢者の疾病と生活上の留意点 ・高齢者の症状の現れ方の特徴 ・高齢者の体の不調の訴え				講義	
12～13回	高齢者の多い病気とその日常生活上の留意点				講義	
14回	保健医療職との連携				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度及び提出物評価並びに試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	老人医学	中川 忍	看護師	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	認知症に関する基礎的知識を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	認知症ケアの歴史:認知症の人の生きる世界				講義	
2回	認知症ケアの理念				講義	
3回	認知症高齢者の現状と今後				講義	
4回	認知症に関する行政の方針と施策				講義	
5～7回	認知症による障害（記憶障害、見当識障害、失語、失認、失行、その他）				講義	
8～9回	認知症と間違えられやすい症状（うつ病・せん妄）				講義	
10～12回	認知症の原因となる主な病気の症状の特徴				講義	
13回	若年性認知症				講義	
14回	病院で行われる検査、治療の実際				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

【介護福祉士科】						
分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	認知症援助法	中川 忍	看護師	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1～2回	認知症が及ぼす心理的影響				講義	
3～4回	認知症の人の特徴的な行動障害				講義	
5～6回	周辺症状の背景にある、認知症のある人の特徴的なこころの理解				講義	
7～8回	認知症の人の特性を踏まえたアセスメント				講義	
9回	環境変化が認知症の人に与える影響				講義	
10回	地域におけるサポート体制				講義	
11回	チームアプローチ				講義	
12回	家族への支援				講義	
13～14回	事例検討				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	ところとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数					
科目名	障害者福祉論	中島丈晴	社会福祉士	1年次	単位数	2単位				
					時間数	30時間				
教育目標	障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得する。									
講義回数	講義内容				備考					
1～2回	障害の概念 ・障害の捉え方 ・ICIDHからICFへの変遷 障害者福祉の基本理念 ノーマライゼーション、リハビリテーション、国際障害者年の理念、その他 身体障害の種類・原因・特性 ・視覚障害 ・聴覚障害 ・言語機能障害 ・肢体不自由 ・内部障害 精神障害の種類・原因・特性 知的障害の種類・原因・特性 発達障害の種類・原因・特性 難病の種類・原因・特性 まとめ・科目試験				講義					
3～4回					講義					
					講義					
5～10回					講義					
					講義					
					講義					
					講義					
					講義					
11回					講義					
12回					講義					
13回					講義					
14回					講義					
15回					試験					
評価方法					成績評価：授業態度及び提出物評価並びに試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	こころとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	障害者心理学	村上 凡子	看護師	2年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	障害のある人の体験を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1～2回	障害が及ぼす心理的影響				講義	
3～4回	障害の受容				講義	
5～6回	適応と適応規制				講義	
7～8回	障害の人の特性を踏まえたアセスメント				講義	
9～10回	地域におけるサポート体制： 行政・関係機関との連携、地域自立支援協議会との連携				講義	
11～12回	チームアプローチ 他の福祉職種、保健医療職種との連携				講義	
13～14回	家族への支援 家族の障害受容過程における援助、家族の介護力の評価、家族のレスパイト				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度及び提出物評価並びに試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

【介護福祉士科】						
分野	ところとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	臨床心理学	真家 千寛	臨床 心理士	2年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	生活支援技術の根拠となるところのしくみを理解する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	心理学の概要				講義	
2回	精神機能の概要				講義	
3回	記憶の心理				講義	
4回	知能の心理				講義	
5回	感情の心理				講義	
6回	性格の心理				講義	
7回	行動からの人間理解				講義	
8回	発達からの人間理解				講義	
9回	適応からの人間理解				講義	
10回	対人関係の心理				講義	
11回	対人行動の心理				講義	
12回	援助行動の心理				講義	
13回	福祉相談機関				講義	
14回	適応障害と心理治療				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

【介護福祉士科】						
分野	ところとからだのしくみ	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	生活援助論	高畑亜弥	看護師	1年次	単位数	4単位
					時間数	60時間
教育目標	介護サービスの提供における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解する学習とする。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	身支度に関連したところとからだの基礎知識・しくみ				講義	
2～3回	機能の低下・障害が及ぼす整容行動への影響				講義	
4回	移動に関連したところとからだの基礎知識・しくみ				講義	
5～6回	機能の低下・障害が及ぼす移動への影響				講義	
7回	食事に関連したところとからだの基礎知識・しくみ				講義	
8～9回	機能の低下・障害が及ぼす食事への影響				講義	
10～11回	誤嚥を予防するための日常生活での留意点				講義	
12回	嚥下障害に気づく観察のポイント				講義	
13回	脱水に気づく観察のポイント				講義	
14回	食事に関する医療行為：経管栄養・胃ろう・腸ろう				講義	
15回	まとめ・確認				講義	
16回	入浴・清潔保持に関連したところとからだの基礎知識・しくみ				講義	
17～18回	機能の低下・障害が及ぼす入浴・清潔保持への影響				講義	
19回	排泄に関連したところとからだの基礎知識・しくみ				講義	
20～21回	機能の低下・障害が及ぼす排泄への影響				講義	
22回	便秘・下痢に気づくための観察ポイント				講義	
23回	排泄に関する医療行為：膀胱留置カテーテル・膀胱ろう				講義	
24回	睡眠に関連したところとからだの基礎知識・しくみ				講義	
25回	機能の低下・障害が及ぼす睡眠への影響				講義	
26回	「死」の捉えかた				講義	
27回	終末期から危篤、死亡時のからだの理解				講義	
28回	「死」に対するこころの理解				講義	
29回	終末期における医療職との連携				講義	
30回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度及び試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	医療的ケア	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	医療的ケア論	高畑亜弥	看護師	2年次	単位数	4単位
					時間数	68時間
教育目標	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	医療的ケアに関連する法・制度				講義	
2回	医療的ケアにおける個人の尊厳と自立				講義	
3回	医療的ケア倫理上の留意点				講義	
4回	保健医療制度とチーム医療				講義	
5回	清潔保持と感染予防				講義	
6～8回	健康状態の把握				講義	
	・健康状態をわかりやすいするための観察項目				講義	
	・急変状態とその対応				講義	
9回	呼吸のしくみと働き				講義	
10回	喀痰吸引とは				講義	
11～12回	喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ				講義	
13～14回	人工呼吸器と吸引				講義	
15～16回	子どもの吸引				講義	
17回	まとめ・確認				講義	
18～20回	喀痰吸引に伴うケア：痰を出しやすくする要素				講義	
	体位を整えるケア ・口腔ケア				講義	
21～22回	喀痰吸引後の報告および記録				講義	
23～24回	消化器系のしくみと働き				講義	
25回	経管栄養とは				講義	
26回	経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ				講義	
27回	経管栄養実施上の留意点				講義	
28回	子どもの経管栄養				講義	
29～33回	経管栄養に必要なケア：				講義	
	・消化機能を促進するケア ・体位を整えるケア				講義	
	・口腔内や鼻のケア・胃ろう部のケア				講義	
34回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

実務経験のある教員等による授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

【介護福祉士科】						
分野	医療的ケア	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	医療的ケア演習	高畑亜弥 津田君江	看護師	2年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な技術を習得する。					
演習回数	演習内容				備考	
1～2回	救急蘇生法				演習	
3～8回	喀痰吸引				演習	
	・口腔:5回以上				演習	
	・鼻腔:5回以上				演習	
	・気管カニューレ内部:5回以上				演習	
9～14回	経管栄養				演習	
	・胃ろう:5以上				演習	
	・経鼻経管栄養:5回以上				演習	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および実技得点並びに試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	その他（社会福祉主事専門科目）	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	社会福祉現場実習指導	橋本歩	社会福祉士	1年次 2年次	単位数	2単位
					時間数	60時間
教育目標	実習に必要な知識習得と準備ができ、実習終了後には適切な振り返りができる。。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	実習指導には、下記の内容を含んで実施する。				演習	
2回	実習オリエンテーション				演習	
3回	視聴覚学習				演習	
4回	実習施設に関する事前学習				演習	
5回	巡回指導				演習	
6回						
7回	実習記録による実習総括レポートの作成				演習	
8回						
9回	実習の評価全体総括				演習	
10回	実習生が、実習の意義、目的を理解できるようにする。				演習	
11回	実習生に、実習機関・施設等についての基本的な事項と、必要とされる知識や技術の基礎について十分理解させる。				演習	
12回						
13回						
14回	実習生と実習担当教員が、実習指導と十分協議して、実習が確実に実施できるよう実習計画・目標を作成する。				演習	
15回						
評価方法	成績評価：授業態度および提出物（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	その他（社会福祉主事専門科目）	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	児童福祉論	石原 正巳	臨床心理士	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	児童福祉の概要とサービス内容、現状が理解できる。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	現代社会と児童福祉				講義	
2回	児童福祉理念の発達				講義	
3回	児童福祉ニーズの内容と把握方法				講義	
4回	児童福祉に関する法とその内容				講義	
5回	児童健全育成条例を含む)				講義	
6回	児童福祉及び関連分野の組織・専門職				講義	
7回	児童に対する保健・医療・福祉サービスの現状				講義	
8回	保育と養護				講義	
9回	施設福祉サービス				講義	
10回	在宅福祉サービス				講義	
11回	保健・医療サービス				講義	
12回	民間サービスの意義と役割及びその現状				講義	
13回	児童に対する相談援助活動				講義	
14回	児童福祉をめぐる我が国と諸外国の動向				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	その他（社会福祉主事専門科目）	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	地域福祉論	神寶 宏明	介護福祉士	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	地域福祉の推進を図るための基礎知識を習得する。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	現代社会におけるコミュニティと地域福祉				講義	
2回	現代社会と地域福祉				講義	
3回	地域福祉理念の発達				講義	
4回	概念と範囲				講義	
5回	役割と意義				講義	
6回	地域福祉を支援する制度（成年後見制度、地域福祉権利擁護事業）				講義	
7回	地域福祉の推進方法及び組織・団体の役割				講義	
8回	地域における福祉ニーズの把握方法と住民参加の意義				講義	
9回	地域福祉計画の意義と内容				講義	
10回	組織・団体の役割				講義	
11回	財源の構成とその調達方法（公的財源、共同募金、地域福祉基金）				講義	
12回	協同組合の活動と制度				講義	
13回	共同組合活動の歴史と理念の発達				講義	
14回	地域福祉の現状				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	その他（社会福祉主事専門科目）	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	社会福祉援助技術演習法学	小倉 毅	社会福祉士	1年次	単位数	1単位
					時間数	30時間
教育目標	相談業務に必要な社会福祉援助技術の技術を多領域の事例を通し活用できるようになる。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	社会福祉援助技術とは				演習	
2回	基本的なコミュニケーション等を含めた社会福祉援助				演習	
3回	具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング）				演習	
4回	各分野別演習の内容 生活保護演習の課題と事例				演習	
5回	生活保護演習の課題と事例				演習	
6回	障害者福祉演習の課題と事例				演習	
7回	障害者福祉演習の課題と事例				演習	
8回	児童福祉演習の課題と事例				演習	
9回	児童福祉演習の課題と事例				演習	
10回	老人福祉演習の課題と事例				演習	
11回	家庭福祉演習の課題と事例				演習	
12回	家庭福祉演習の課題と事例				演習	
13回	地域福祉演習の課題と事例				演習	
14回	地域福祉演習の課題と事例				演習	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	その他（社会福祉主事専門科目）	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	福祉事務所運営論	島村 嘉一	なし	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	福祉事務所の概要、役割が理解できる。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	福祉事務所制度の成立と歴史的展開				講義	
2回	福祉六法体制の確立、福祉関連八法改正、地方分権一括法				講義	
3回	福祉事務所に関する法令				講義	
4回	福祉事務所の業務と組織				講義	
5回	標準福祉事務所の業務、社会福祉主事、査察指導員				講義	
6回	福祉事務所と関係機関の連携				講義	
7回	児童相談所、更生相談所、保健所、婦人相談所等との連携				講義	
8回	社会福祉主事の役割と倫理				講義	
9回	公務員倫理と職業倫理				講義	
10回	社会福祉主事の業務と社会福祉援助技術の活用				講義	
11回	査察指導の意義と方法（必要性和実施方法）				講義	
12回	現任訓練の意義と方法（必要性和実施方法）				講義	
13回	福祉事務所をめぐる動向				講義	
14回	地方分権と規制改革）				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	その他（社会福祉主事専門科目）	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	福祉事務所運営論	森本章音男	なし	1年次	単位数	4単位
					時間数	60時間
教育目標	社会福祉施設経営に必要な知識を身につける。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	社会福祉施設の体系と制度の概要				講義	
2回	社会福祉施設における福祉サービスの理念				講義	
3回	社会福祉施設の経営				講義	
4回	社会福祉施設における組織管理				講義	
5回	社会福祉施設の運営				講義	
6回	社会福祉施設のサービス管理				講義	
7回	社会福祉施設における人材育成				講義	
8回	人事管理				講義	
9回	労働条件管理の実際				講義	
10回	労使関係の基礎知識				講義	
11回	採用・雇用の計画と管理				講義	
12回	職員の配置転換・昇任昇格				講義	
13回	就業規則の制定と運用				講義	
14回	賃金と福利厚生				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	その他（社会福祉主事専門科目）	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	法学	伊藤 治彦彦	なし	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	社会福祉に関係する法制度について理解を深めることができる。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	現代社会と法				講義	
2回	憲法				講義	
3回	行政法				講義	
4回	地方自治				講義	
5回	地方自治法（地方分権推進法を含む）				講義	
6回	地方公務員法（国家賠償法を含む）				講義	
7回	地方財政法（補助金等による予算の執行の適正化に関する法律を含む）				講義	
8回	民法				講義	
9回	総則（法人、成年後見制度を含む）				講義	
10回	物権				講義	
11回	契約				講義	
12回	不正行為				講義	
13回	親族（扶養を中心に）				講義	
14回	相続				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	その他（社会福祉主事専門科目）	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	経済学	赤木 邦江	なし	1年次	単位数	2単位
					時間数	30時間
教育目標	福祉と経済の関連性を理解し、広い視野で福祉をとらえることができる能力を養う。					
講義回数	講義内容				備考	
1回	経済学の構成と概要				講義	
2回	経済学の生成と発展				講義	
3回	経済学の体系と主な理論				講義	
4回	国家財政と地方財政				講義	
5回	国家財政の機能と役割				講義	
6回	地方財政の機能と役割				講義	
7回	国と地方の政府間財政関係（地方交付税制度を含む）				講義	
8回	公共政策と経済政策				講義	
9回	金融・財政政策（財政投融资を含む）				講義	
10回	所得・分配政策				講義	
11回	地域開発の経済政策				講義	
12回	社会政策と国民生活				講義	
13回	労働経済（賃金、雇用、社会保障を含む）				講義	
14回	国際化時代の経済				講義	
15回	まとめ・科目試験				試験	
評価方法	成績評価：授業態度および試験得点（100点満点）					

授業科目の授業計画(シラバス)

【介護福祉学科】

分野	介護	講師名	実務経験	講義予定	単位数	
科目名	社会福祉現場実習	橋本歩	社会福祉士	1年次	単位数	2単位
					時間数	90時間
教育目標	実習を通して社会福祉施設の理解、相談員の役割や必要な技術について理解を深める。					
講義回数	講義内容				備考	
	1 実習は下記の機関・施設（事業を含む）で実施することとし、 ①または②の機関のいずれかでの実習を1ヵ所以上含んで実施する。 ①福祉事務所 ②児童相談所・身体障害者更生相談所等 ③社会福祉施設（事業を含む） ④市町村福祉保健関係機関 利用者やその関係者、施設・機関・団体等の職員ボランティア等との基本的なコミュニケーションや人の付き合い方など円滑な人間関係を形成する能力を強める。 利用者を理解し、その需要を把握する能力を強める。 利用者やその関係者への援助の実際を学び、援助能力を強める。 福祉専門職としての職業倫理、施設・機関・団体の経営や職員の就業に関する規定等の理解含める				演習	
評価方法	成績評価：実習状況・内容・記録・提出物（100点満点）					